

私と古本屋

小川武

昭和二十一年頃のことである。古本屋で本を貰うためには、手持の本と交換でなければ手に入らなかつたことがあつた。店の経営も一番苦しかつた時代だつたのだろう。書棚もかなりスケスケであったことを記憶している。

「困つた世の中になつたわね。お父さんの本箱から何か一冊持つていつたらどう」と母親はいった。

私は、店主とりあえず父の木箱にあつた北一輝や大川周明の名前をあげてみてはいたのである。

「当節はデモクラシーの世の中ですからね。そんな本ではダメだ。不良在庫になるだけだから……」

と断られてしまつたのである。

しかししながら、再生紙の材料としての値段でなら引き取るということを聞いていたから、北や大川

といつた人たちの本に加えて、雑誌類を自転車の荷台に山程積んで売り飛してしまったのである。この当時からすでに三十数年が過ぎている。今のご店主なら、「いざれエライ生先方が右翼の本だって研究されるようになりますよ。お持ちになつていたら……」という程度のサービスはなされることだろう。

確か昭和三十五年のことだったと思う。私は京都市の商工局に勤務していた。そのとき、古本屋めぐりを開いたことがある。陶磁器業界に關係した仕事をしていたので、どうしても奈良本辰也の「近代陶磁器業の成立」と小宮山塚二の「日本中小工業の研究」を手に入れたかったからである。

業界も当時のいろいろの難問を抱いた。清水焼業界には、職人として成型や絵付などのすぐれた技術を持ったが、本焼きについては登窯の一部を貸窯業者から借りて焼成している零賣業者も多數存在していたのである。月一回か二回の窯のたつ日には、リヤカトに素焼した半製品を積んで急な坂道を登り下りしていく風景をみると、それが「国民所得倍増計画」が発表され、経済も活況を呈しつつあるが、適度にヤニでのたば松で二層夜焼くのがカマ焼きの条件であった。このため、附近住民からは煙とススによる公害が問題とされるようになってきた。

の動きに密着した商売を可能にすることとなる。したがつて過大な在庫を抱えなくてすみ、運搬労働も失くなり、石炭・重油・薪などを燃料とする煙や騒音公害を追放するなどの利点が数えられ、コストの切り下げも可能であった。私の記憶では、三十台近くの電気窯が導入されたのではないかと思つてゐるのである。

—— 古書のご整理は 京都

京都古書研究会加盟店

近世京都の本屋

(三)

宗政五十緒

十五 錢屋惣四郎
錢屋惣四郎、と書くよりも佐々木竹苞楼と記した方がポピュラーであろう。寺町姉小路上る町、本能寺前の書肆、京都の観光ガイドックで江戸時代の本屋のたたずまいを示す写真が載るのは、まずこの店。旧き時代の本屋のおもかげを店先に残す京都の唯一つの例で、貴重な建物である。この店は先年、先代主人、佐々木春隆氏が

代々これを襲用する。店は姉小路寺町西入る北側である。鳩居堂の西でこの時代は営業していたのである。安永九年、隠居、寛政四年没、歳七十。

二代は春行という。学問も出来、『宋本鑑定雜記』・『札義類典拾遺』などの著述があり、また文人・学者たち、藤貞幹・伴蒿蹊・高芙蓉・上田秋成などとの交渉も繁かつた人である。明和元年(一七六四)誕生。安永九年、十七歳で家を嗣ぐ。

享和元年(一八〇二)三月、現在の場所に店を移した。文政二年(一八一九)八月没、五十六歳。

三代は春蔭。この人は著屋(どきや)儀兵衛の子で、養嗣子となつた。著屋儀兵衛は仏書が中心の本屋。能勢氏で、軒号を芳樹軒といふ。文政元年、佐々木家に入り、万延元年に没した。六十一歳。

四代は春明。安政五年に家督を相続する。この代に、元治元年の禁門の変で店は類焼した。現在の建物は慶應二年(一八六六)の建築だから、すでに百二十年経つて

いる計算になる。

近代になつて、五代、春吉。六年に錢屋惣四郎と改めて、以後、

書好きの者でこの人の世話をしなかつた者は京都ではほとんど居ないはず。今に惜しまれる人である。当主は七代になる。古書を業とするが、営業を続けて今日まで二百三十年を超える旧家である。

『若竹集』にはこの店の藏板帳

である『藏板記』が翻刻されているので、店の刊行書が具体的に知られる。例えば、伴蒿蹊はこの店から多くの著述を出版している。

『梅窓筆記』が刊行されている。

それに相国寺の大典、この人は詩文をもつて寛政期の京都に名が高い。

今日、竹苞楼には膨大な量の板木が藏されており、先年、上方の出版について、NHKテレビに松泉堂、中尾堅一郎氏と二人、出た折にサンプルとして刷ったものを三四枚もらつたことがある。

『若竹集』には又、竹苞楼の刊行書の出版事情を窺うことのできる資料である『竹苞樓大秘錄』。

『竹苞樓秘錄』とが收められている。狂詩集の資料も見られる。狂詩集は小冊子なので出版には多額の費用を必要としない。

京都の狂詩作者第一は銅脈先生、島中頼母である。その著『勢多唐巴詩(せたのからはし)』は明和八年の出版で、その費用を詳しく書

留めている。抄記しよう。

銀六十七匁五分、すなわち、金一両を「写本謝義として」支払つてある。これは今日でいう稿料に当たるものと見てよい。この本は扉画を与謝蕪村に書いてもらつて

京都府史編さん所長
〈筆者紹介〉

京都市史編さん所長

年

の出版で、その費用を詳しく書

留めている。これは今日でいう稿料に

当たるものと見てよい。この本は

扉画を与謝蕪村に書いてもらつて

本屋である。

寛延四年(一七五一)五月に書林仲間に加入したというから、この年は改元して宝暦元年なので、竹苞楼は宝暦からの本屋である、

といふ。この時、歲二十九で、はじめ錢屋平八、宝暦九年に錢屋惣四郎と改めて、以後、

本屋である。

この代は春明。安政五年に家督を相続する。この代に、元治元年の禁門の変で店は類焼した。現在の建物は慶應二年(一八六六)の建築だから、すでに百二十年経つて

いる計算になる。

近代になつて、五代、春吉。六年に錢屋惣四郎と改めて、以後、

本屋である。

この代は春明。安政五年に家督を相続する。この代に、元治元年の禁門の変で店は類焼した。現在の建物は慶應二年(

いて、この札が四匁二分五厘。本文の板下（はんした）は一丁につき銀五分で、十二丁あるから六匁。これは書家の曾谷忠助に支払って

いる。

板木の彫り賃は、屏画が三匁八分二厘、序文（明朝体の分）二丁

が五匁九分五厘、序文（行書の分）

で、この一冊の開板までに要した費用は計百九十五匁八分八厘、ざつと二百匁かかってい

る。これから、やがて印刷代・紙

代・表紙代・製本代などを費やす

て小冊子が陽の目を見ることにな

るわけである。明和八年は米一石

が銀六十匁余り、というのが相場

だから、今日の値段で考えると、

『勢多唐詩』の開板費用は二十

万円ぐらいと見てよい。この本の

竹苞楼の出し値は一冊一匁三分。

竹苞楼の出版した『近世畸人伝』

は江戸時代の畸人たちの伝を載せ

たすぐれた文学作品である。今日

でも多くの人々に愛読されている。

平凡社の東洋文庫には正統あわせ

て一冊に收められているので容易

に読むことができる。続編には詩

人で本屋があつた端文仲（たん・

ぶんちゅう）という人の伝を載せ

ている。短かいので左に引いてお

こう。

端隆（たん・りゆう）、字（あざ

な）文仲（ぶんちゅう）、通名順助、

春莊（しゅんそう）と号す。書林

なりしかど、隠操ある人にて、詩

を能くして名あり。天明の火にあ

ひて大いに零落す。しかれども、『

春莊帖』と名付くる書画帖を残し

て、知己の諸名家に乞ひして

さしめ、「此の帖はおのが別荘なり。」

としたしめり。発心集（ほつしん

しふ）に家の図をかきてよろこび

けるおとこ有りしに似たり。その

作、彼の帖の首にかけるは、

半開全盛、春光ヲ競フ、

日日家ニ帰レバ衣袖香ハシ、

酒館ノ佳招、僧院ノ約、
人情一月、花ノ為ニ忙ハシ、

又、

閑ヲ倫（ヌス）ンデ午日芳菲

（ハウヒ）ヲ惜シム、

惆悵（チウチャウ）ス花前旧友

ノ非ナルヲ、

醉後、縱（タ）トヒ能ク紅面

（オモテ）ヲ照ラストモ、

時々雪ト作シテ鬢辺（ビンベン）

ニ飛ブ、

この春莊の伝は『畸人伝』の挿

絵を描いた三熊思孝（みくま・し

こう）の文章である。『畸人伝』の

正編は三熊思孝が風俗考証をして

いる。あるいは、一枚物に切り離

して積み上げられていることもあ

る。詩文家の文集をひもといてい

描いた挿絵が入っているので、こ

れまた有名である。春莊は『春莊

帖』と名づける書画帖を常に懷中

にしていたという。この帖は板行

されているので内容を見ることが

できる。寛政頃には諸名家の書画

をあつめて冊子にした書画帖の製

作が流行した。この流行は幕末、

明治にも及んでいる。今日、古道

具屋の店頭でこの種のものを散見

する。あるいは、一枚物に切り離

して積み上げられていることもあ

る。詩文家の文集をひもといてい

んでいたのである。

最後に竹苞楼の号にふれておこ

う。これは『詩經』の小雅『斯干』に

挿ったもの。秩秩タル斯ノ干（ミ

ギワ）、幽幽タル南山、竹ノ苞（ム

ラダ）ツ如ク、松ノ茂レル如シ、

（龍谷大学教授・文学博士）



『近世畸人伝』「池大雅」さしえ

『近世畸人伝』奥付

(鶴惣四郎が竹苞楼)



明治期の竹苞楼 中川純画

書目解題書『群書一覧』について（下）

管宗次

前号、燕文には諸氏よりの御教示を賜わり、今もなお尾崎雅嘉著『群書一覧』を愛蔵し、その価値を以つて便とする研究家読書子の少なくなきことを知り吾が事のように快欣を禁じえなかつた。

(上)にては、三十一類五十一種の諸本とその内容についての管見を述べたが(下)では、その初板本と特装本について述べたく思う。

三十一類五十一種もの諸本が存するならば当然、異板について考察するためにも、まず初板本が必要であった。幸いにも、私が尾崎雅嘉研究の一環として『群書一覧』を調査するうちに、園田女子大の安藤武彦氏の御知遇を得て御架蔵未だ他の所在をきかない。初板本本調査の便を賜つた。その一本が並装本、享和二年五月多田勘兵衛板(多田は海部屋勘兵衛単独板であった。同奥付本はあるが、この宮内庁書陵部藏本は特装本で、並装本の上梓にさきがけて献本として刷り立てられたもの)のようである。

宮内庁書陵部藏本は大本位立て

で表紙は布目丹表紙、題簽無く書名巻数打ち付書、奥付に書林印があり、実にゆつたりとした本である。

特装本で著者が過眼し得たものは次の九本である。(アラビア数字は(上)での『群書一覧』書誌の頭書番号である。)

1 享和二年五月 新刻成 多田勘

兵衛板

①宮内庁書陵部藏

4 享和二年夏六月 多田定学堂主

人 海部屋勘兵衛

②中尾堅一郎氏藏 ③住吉大社

御文庫藏、④東北大藏 狩野文

庫本、⑤大阪府立中之島図書館

5 享和二年夏六月 多田定学堂

海部屋勘兵衛板

⑥日比谷図書館藏 加賀文庫本、

⑦東北大藏 ⑧架蔵

6 享和二年夏六月 刻成 海部屋勘兵

衛梓行他五書肆相合板

⑨天理図書館藏 石田文庫本

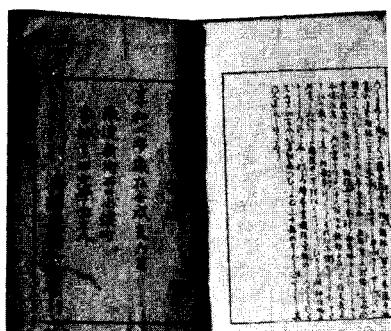
1 から5までの特装本は大体立て

ての六卷十二冊、六卷六冊特装本

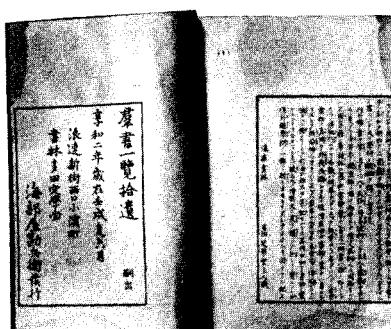
である。並装本が布目丹表紙、中本

六冊本で、極力コンパクトにまと

められた体裁であるのに比して、



享和二年夏六月(並装本)
多田定学堂主人
海部屋勘兵衛板(架蔵)



享和二年夏六月(特装本)
多田定学堂
海部屋勘兵衛板(架蔵)

特装本はゆつたりとした献本用の雅味のある装丁である。題簽も並装本が「群書一覧」、「(一六)」と「群書一覧」の字に異体字を使うを以つて便とする研究家読書子の少なくなきことを知り吾が事のように快欣を禁じえなかつた。

(上)にては、三十一類五十一種の諸本とその内容についての管見を述べたが(下)では、その初板本と特装本について述べたく思

う。

以上は大本仕立て特装本についてであるが、6 享和二年五月刻成海部屋勘兵衛梓行他五書肆相合板は天理図書館藏本の中本二冊薄葉色模様茶色表紙は當時の好み表紙で、雅嘉の自筆写本には薄茶色表紙が多く、それを反映しているようである。

以上は大本仕立て特装本についてであるが、6 享和二年五月刻成海部屋勘兵衛梓行他五書肆相合板は天理図書館藏本の中本二冊薄葉色表紙は當時の好み表紙で、雅嘉の自筆写本には薄茶色表紙が多く、それを反映しているようである。

以上は大本仕立て特装本についてであるが、6 享和二年五月刻成海部屋勘兵衛梓行他五書肆相合板は天理図書館藏本の中本二冊薄葉色表紙は當時の好み表紙で、雅嘉の自筆写本には薄茶色表紙が多く、それを反映しているようである。

以上は大本仕立て特装本についてであるが、6 享和二年五月刻成海部屋勘兵衛梓行他五書肆相合板は天理図書館藏本の中本二冊薄葉色表紙は當時の好み表紙で、雅嘉の自筆写本には薄茶色表紙が多く、それを反映しているようである。

以上は大本仕立て特装本についてであるが、6 享和二年五月刻成海部屋勘兵衛梓行他五書肆相合板は天理図書館藏本の中本二冊薄葉色表紙は當時の好み表紙で、雅嘉の自筆写本には薄茶色表紙が多く、それを反映しているようである。

本稿（上）の脱稿後の調査本数も含め、百本中わずか一本しか見出しえなかつた、並装本の刊行数は少なかつたようである。享保以後『大阪出版書籍目録』によると、群書二覽五冊 作者 尾崎春藏（尼崎町） 許可 寛政十二年十一月二十四日とみえているので寛政十二年九月には刊行予定の出願五冊本が成立していたらしい。『大阪本屋仲間記録』（巻二、一九九頁）に「海部屋勤兵衛殿、群書一覽出来、上ヶ本白板部銀出ル、添章遣ス」とある。「添章」は当時の発行許可証、支払わねばならぬものである。よつて享和二年五月海部屋單独は六月五日の発売許可以前に上梓されたものであつて、本数の少ないもののことによるのであろう。こうしたことは當時よくあつたことのようである。

『群書一覽』は、明治期に至るまで多くの諸本があるが、その諸本の一本一本に愛書家、読書子、篤学者の蔵印なり、書入れなりをみると、「群書一覽」の様な享受が窺い知られる。そうした一本一本に雅嘉の学問的業績がこめられていることを思うと、雅嘉の功績

は少なからざるものといえよう。本稿には、各図書館、各位各方面からの御恩によるところ頗る大である、また本稿が『群書一覽』書誌を網羅したとは思はず、是非とも御叱正を賜りたく思う。（昭和五十七・三・六稿、日本近世文学会員 梅花高等学校教諭）。



<p>御案内</p> <p>「祇迦信仰と清涼寺」と 「知恩院と法然上人繪伝」</p> <p>法然上人生誕八百五十年を記念して現在京都国立博物館にて開催されている。</p>	<p>五月五日迄（月曜休館）</p> <p>（五月三日（祝）は開館主な展示作品</p> <p>祇迦如来立像（国宝）他</p> <p>涅槃図・絵因縁等</p> <p>法然上人絵伝（四十八巻）</p> <p>知恩院秘藏の名宝、国宝・重要文化財を中心に約百八十点を展示</p>	<p>本白板部銀出ル、添章遣ス」と享和二年六月五日の一条にみえている。「添章」は当時の発行許可証、白板部銀は「添章」が下附された時に開板人が本屋仲間行事に支払わねばならぬものである。よつて享和二年五月海部屋單独は六月五日の発売許可以前に上梓されたものであつて、本数の少ないもののことによるのであろう。</p>
---	---	--

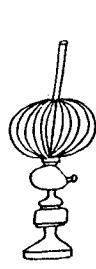
もし精読精覧するためとは限らない。むしろ愛蔵することに、意義を感じる場合が、多いのではないかだろうか。これは、その内容において、骨董趣味と類似ところが、この骨董趣味的な書物趣味を、文学者で大作家のアナトール・フランシス（一八四一—一九二四）は、その著「エピクロスの園（岩波文庫 大塚幸男訳）」の中でも、大いに弁護する。

「では君は、君の古い陶器で食事をとるのか。書物を戸棚の中に入れておく以上の立派なことができようか」と。アナトール・フランスは、パリのセーヌ河畔の本屋に生れた。家業を手伝い、出版や雑誌の編集をし、また図書館の仕事をもしたという。だから、単に本のことはばかりでなく、愛書家読書家の心理や習俗に精通していたものと思われる。著書「わが友の書」の中で、河岸の素朴な古本

が少なくなかつたからである。しかし、それが非売品だった文化展にも古書診書の稀観本が少なくなつたからである。文化展にも古書診書の稀観本が少なくなつたからである。文化展にも古書診書の稀観本が少なくなつたからである。

アントール・フランスは、パリのセーヌ河畔の本屋に生れた。家業を手伝い、出版や雑誌の編集をし、また図書館の仕事をもしたという。だから、単に本のことはばかりでなく、愛書家読書家の心理や習俗に精通していたものと思われる。著書「わが友の書」の中で、河岸の素朴な古本

が少なからざるものといえよう。本稿には、各図書館、各位各方面からの御恩によるところ頗る大である、また本稿が『群書一覽』書誌を網羅したとは思はず、是非とも御叱正を賜りたく思う。（昭和五十七・三・六稿、日本近世文学会員 梅花高等学校教諭）。



奈良國立博物館

4月29日（5月30日
休館 5/10・17・24日

古本とエピクロス的愛書家

高木 寂

屋を讀え、大学の教授以上に教育してくれたと感謝している。このようないいが、晩年なつてセーヌ河畔を訪れたとき、かつて最大の喜びであった古本屋の箱が、憂愁の思いを催させる」と嘆く。如何に立派な本でも、古本屋の箱の中で日々やけ、カビがはえるといい、物を書くむなしを説いて、同行のニコラ・セギュールを驚かせる。（岩波文庫「知性の愁い」）ニコラ・セギュール著、大塚幸男訳による）

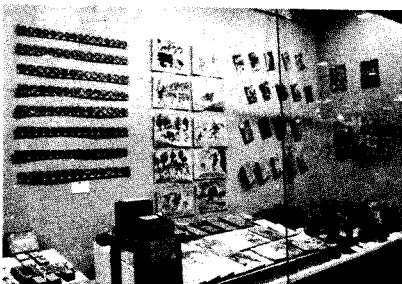
岸で私は人となつた」という铭が刻まれているという。（「知性の愁い」による）

京の古書の世界にも、彼のように、本を愛し、本とともに生きる人がいるにちがいない。人目につかないのは、狂奔するマスコミの俗流を厭い、あのエピクロスの徒のように隠棲しているからであろう。（了）

古書研勉強会

「京の子ども文化展」

—学びと遊びの今昔—



主旨にご賛同いただいた方々からも、お持ちの資料をいろいろとお寄せいただいて、陳列品を充実させることができました。特に、大阪市立大学教授石附実先生には、資料をご提供いただいたのみならず、企画の段階からご指導ご助言を仰ぎ、陳列の仕方から説明文の添削にいたるまで、細かなご配慮を賜わりました。資料をご提供下さった方々ならびに、社会教育センターのスタッフの皆様に、紙上を借りまして改めてお礼申上げます。

会場が中央図書館や社会教育セ



旧聞にぞくすることですが、さる一月二十七日から二月一日にかけて開催いたしました、展示会と古書即売会のご報告をいたします。

前回「京の書物今昔展」「京のガイドブックの変遷史」につづく、第二回目の展示会のテーマは、表記のように「京の子ども文化展」です。遊びの今昔」といたしまして。

千年の京都は、かつてわが国文化の中心地であり、明治維新後文化の近代教育においても「学制」発布より三年も早く、明治二年には

他に先がけて、日本最初の小学校を六十四校も開設せんなど、輝かしい歴史をもつています。教育の問題がさかんに論議されている今日、いま一度歴史を振りかえり、子どもたちの学びと遊びの調和について考えていただこうという主旨で企画したものです。

幸い、京都市教育委員会ならびに京都市社会教育振興財団より、強力なご支援をいただき、市内の公共的機関や小学校、あるいは民間企業ご所蔵の貴重な資料を、多数拝借することができました。又、

幸い、京都市教育委員会ならびに京都市社会教育振興財団より、強力なご支援をいただき、市内の公共的機関や小学校、あるいは民間企業ご所蔵の貴重な資料を、多数拝借することができました。又、

訓註 禅林句集 柴山全慶老師輯 定価1,500円送料160円

佛教書取り揃えております
葉書にて御照会下さい。

其中堂 振替京都538
TEL.231-2971

〒604 京都市中京区寺町通三条北

京の子ども文化展出品目録抄

一 学びと遊びの今昔 —

遊びの今昔		さや絵 遊宝 大正頃
善悪道中双六	国芳画 木版 江戸	立体魔法メガネ (立体写真29枚) 立体魔法メガネ (立体写真29枚) 昭10頃
八犬伝狗草紙双六	国貞画 木版 江戸	紙芝居 四種
善悪教訓辻占双六	国政画 木版 明治	戦前メンコ 多数
女礼双六	木版 明治	少女俱楽部・少年少女潭海・少年・少女クラブ・少年クラブ・おもしろブック・ぼくら・少年マガジン・ひとみ・なかよし・少年画報漫画王・幼年クラブ・幼年ブック・少女の友他雑誌多数
東海道線路汽車旅行双六	香潮楼画 木版 明治	のらくろ・蛸の八ちゃん・マルカクサン・チョンスケサン・ドウブツ学校・三三が六ちゃん他
諸芸遊参双六	英山画 江戸	漫画多数
小供風俗 宮川春汀	木版三十七枚 明治	少女十二ヶ月双六 木版 明治
おもちゃ絵	新板あねさま・偏額づくり 木版 明治	論語・日本外史・童玉古状揃・三字経・世話千字文・商賈往来・商家往来・庭訓往来・用文往来・六諭治義大意・永代節用無尽蔵・女実語教・拾玉塵功記・改算記綱目・算法道標他江戸時代テキスト多数
大日本歴史双六	木版 明治	孔子像・天神像・天神机・文函・天神絵入硯箱・手習帖・文具箱・天神形硯・算盤・携帯用紙そろばん他寺小屋資料
立ばんこ 曾我十番切・宇治川合戦先陣あらそい 明治	横村 (正直) 男爵頌功碑拓・肖像・中学開業祝詞他数点	学びの今昔
投扇興 信行大人歌 松園女史画 一組	百人一首 木版彩色 江戸	卒園証書(明37)・修業証書(大2)・图画成績(大4)・精勤賞(明33)・成績報告(明44)・图画帖(明33)・卒業記念文集(大14)他多数
源氏手描かるた (江戸中期)・木札かるた・変体仮名かるた・むべ山かるた・いろはかるた・京都市民憲章かるた・教育標語イロハカルタ・なぞなぞかるた・貯金かるた・やさしい英単語かるた・京いろはかるた・むかしばなかかるた・スポーツかるた・悉陀羅五十音歌留多・教育いろはかるた・まき絵かるた・アルミ金上着かるた他かるたの多数	新撰博物小学・小学理科新書・初学人身窮理・登高自卑訓蒙窮理図解・物理了案・西洋事情・文字之教・智慧の環・普通年中用文章・日本全国・万国往来・地方往来・京都府管内地図・京都誌要・京都駿程記・工業小学・初学経済論・錦絵修身談・初学須知・小学普通画本・画学入門・取引要文・英和用文章・英語図解・女範・小学美容術・新説体操教授書他明治初・中期教科書多数	體操用具 木製アレイ・球竿・棍棒・木銃改正課業表 (カリキュラム) 昭和七年
絵双紙 倭文庫・天一坊一代記・大日本名将鏡 他多数	特別出品―学びの跡 (あるご婦人の昭和12~21年頃までの資料多数)・幼稚園通帖・小学校作品集・ワーケブック・通知簿・級長命令書・読物・漫画他)	石附実・小川幼稚園・京都市教育研究所・京都府立総合資料館・教業小学校・株島津製作所・聚楽小学校・生祥小学校・中村弘子・西春・日彰小学校・任天堂(株)・フレーベル館・文適堂・吉田光邦・京都古書研究会 (五十音順・敬称略)

さや絵 遊宝 大正頃	トート (鉄製)・教育用X線装置・螢光体八本・顕微鏡・肺活量計・第一回国観葉博覧会褒状・軽気球図 (木版)
紙芝居 四種	昭和期戦前戦後教科書多数
立体魔法メガネ (立体写真29枚) 立体魔法メガネ (立体写真29枚) 昭10頃	戦前メンコ 多数
紙芝居 四種	大正期教科書多数
立体魔法メガネ (立体写真29枚) 立体魔法メガネ (立体写真29枚) 昭10頃	昭和期戦前戦後教科書多数
立体魔法メガネ (立体写真29枚) 立体魔法メガネ (立体写真29枚) 昭10頃	単語文字の魁 総合せ 木版 一组 明治初年
立体魔法メガネ (立体写真29枚) 立体魔法メガネ (立体写真29枚) 昭10頃	新板たいそうづくし 木版 明治
立体魔法メガネ (立体写真29枚) 立体魔法メガネ (立体写真29枚) 昭10頃	教育尚武画
立体魔法メガネ (立体写真29枚) 立体魔法メガネ (立体写真29枚) 昭10頃	体操用具 木製アレイ・球竿・棍棒・木銃改正課業表 (カリキュラム) 昭和七年
立体魔法メガネ (立体写真29枚) 立体魔法メガネ (立体写真29枚) 昭10頃	石盤・石墨・紙製石盤 明治
立体魔法メガネ (立体写真29枚) 立体魔法メガネ (立体写真29枚) 昭10頃	種痘期券 明治十四年
立体魔法メガネ (立体写真29枚) 立体魔法メガネ (立体写真29枚) 昭10頃	卒園証書(明37)・修業証書(大2)・图画成績(大4)・精勤賞(明33)・成績報告(明44)・图画帖(明33)・卒業記念文集(大14)他多数
立体魔法メガネ (立体写真29枚) 立体魔法メガネ (立体写真29枚) 昭10頃	学校 授業風景写真 パネル多数
立体魔法メガネ (立体写真29枚) 立体魔法メガネ (立体写真29枚) 昭10頃	掛図多数 明治・大正・昭和
立体魔法メガネ (立体写真29枚) 立体魔法メガネ (立体写真29枚) 昭10頃	大正・昭和初期幼稚園教材教具・成績等多数
立体魔法メガネ (立体写真29枚) 立体魔法メガネ (立体写真29枚) 昭10頃	錦絵多数
立体魔法メガネ (立体写真29枚) 立体魔法メガネ (立体写真29枚) 昭10頃	資料提供
立体魔法メガネ (立体写真29枚) 立体魔法メガネ (立体写真29枚) 昭10頃	特別出品―学びの跡 (あるご婦人の昭和12~21年頃までの資料多数)・幼稚園通帖・小学校作品集・ワーケブック・通知簿・級長命令書・読物・漫画他)

思わぬ出費!

その様な時、御利用下さい。

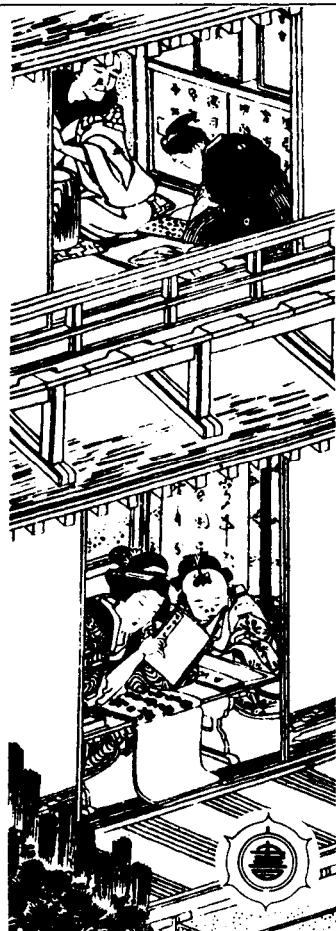
・出町店・京都市上京区河原町今出川上る

☎ 231-7711 番

・衣笠店・北区西大路通り平野神社北隣

☎ 462-3371 番

ENSHOD
本専門の質屋
善書堂



新訂
京都古書店案内図

京都古書店案内図出来る!

兼ねてより品切になつておりました「京都古書店案内図」が増補新訂版として、できあがりました。江戸期地図をアレンジし、市内八十八店舗を掲載、見やすく携帯便利に工夫されております。

京都の古書店探索には是非お備え下さい。

★お申し込みは
「京都古書研究会」まで

■大きさ五一cm×七三cm
■価格二五〇円 送料一二〇円

発行 京都府古書籍商業組合

本誌12号の巻頭文を書いて頂きました大塚隆氏の著書が出来ました。

「京都古書研究会」まで

・今回の編集

藤原・松尾・山崎・久保田

新刊紹介

本誌12号の巻頭文を書いて頂きました大塚隆氏の著書が出来ました。

吉田光邦評論書 全三巻

日本書誌学大系18
青裳堂書店刊
A5版 定価九〇〇〇

戸期202鋪明治期169鋪)の解題、他に内裏図・焼場図・参考資料などて展覧会目録が附いている。

吉田光邦評論書 全三巻

思文閣出版

定価二、九〇〇

- I、芸術の解析(第一回配本)
- II、文化の手法
- III、文明の基軸

第一回配本分が思文閣より刊行された。

せめて桜の散らぬ間にとすすめ来てましたが、今ははや、風薫る五月、刊行遅延を深くお詫び申上げます。

一編集後記

年間購読料五〇〇円(四回発行)
申込単位 一年以上(四回分)
送金方法 郵便振替……
(京都二二二二三三一京都古書研究会)を、ご利用下さい。

定期購読継続

「ご希望の方へ

本誌12号の巻頭文を書いて頂きました大塚隆氏の著書が出来ました。

申込単位 一年以上(四回分)

送金方法 郵便振替……
(京都二二二二三三一京都古書研究会)を、ご利用下さい。

竹苞楼来翰集 佐々木竹苞藏

水田紀久編 臨川書店刊

定価七、四〇〇

京都寺町の古書肆佐々木竹苞楼には、近世中期以後幕末近代におよぶ諸名家よりの来翰が、多数伝わっている。淇園春水・山陽父子、校斎ら漢学者、萬蹊・經亮・春門・御杖ら国学者や、貞幹・竹窓・信天翁・鉄斎ら文人その他の書翰一四四通から、京洛書肆・錢屋惣四郎家を軸とする文化圈の内幕を、まさに窺うことができる。

古本業界の不況が云われ出してから既に数年、近頃思います「不況ってナニ?」向うから来るのが経済不況。こちらが作り出すのが怠慢不況。店頭・即売会・目録……「本がないネエ」とはお客様。「本はあるんだけどナア」と店主のボヤキ。多様性の社会も実は総じてたばかり、この先ずっと多様な多量の供給はづく筈。これからが古本屋の腕のふるい時、経済状況もさることながら、お客様のキレイ選択眼を先取りしてこそ、これから古本屋の生きる途……と自戒すること多々あります。

御注文は各書店へ

★全集・叢書在庫案内★ 価格等は電話にて問合せ下さい。

出町店 〒602
衣笠店 〒603
上京区河原町通今出川上ル
電話(〇七五)二三一一七七一
北区西大路通平野神社北隣
電話(〇七五)四六二一三三七一
(株)善書堂

★全集・叢書在庫案内★ 価格等は電話にて問合せ下さい。
国書総目録・大日本史料・日本史籍協会叢書・史料綜覧・古事類苑・大日本古文書・隔晝記・教王護國寺文書・弘法大師伝全集・奈良の寺・清澤滿之全集・大乘般若教研究・碧巖錄大講座・日蓮上人遺文大講座・近畿日本叢書・白鳥庫吉全集・御袖書集成・孝明天皇記・新修京都叢書・京都大学文学部考古学研究報告・日本の考古学・日本の歴史・江戸時代図誌・ヘンディ・中央アジア探検紀行全集・日本の歴史・世界の歴史・岩波講座日本歴史・岩波講座世界歴史・原色日本の美術・大系世界の美術・正倉院宝物・岸田劉生全集・原色版国玉・柳宗悦選集・世界の名著・渡辺善太全集・レーニン全集・唯物論研究・宇野弘蔵著作集・武内義雄全集・ニーチェ全集・田中美知太郎全集・アリストテレス全集・プラトン全集・西田幾多郎全集・南原繁著作集・石原謙著作集・田中正造全長・和辻哲郎全集・河合栄治郎全集・波多野精一全集・東郷平八郎全集・デカルト著作集・ショーベンハウフ全集・フォイエルバッハ全集・フロイト著作集・賴山陽全書(獨文)・ゲル全集・オルテガ著作集・岩波講座現代法・二木清全集・ダントン大自然科学史・聖書書講義・岩波講座哲学・岩波講座基礎数学・岩波講座現代生物科学・大漢和辞典・古本能狂言・類聚占集・歌舞伎年表・歌舞伎評判記集成・名作歌舞伎全集・因説俳句大才時記・日本文法講座・日本名著全集・江戸文芸大系・岩波講座日本文学史・現代日本文学大系・未刊外全集・鶴外選集・芥川龍之介全集・国木田独歩全集・左千夫全集・志賀直哉全集・漱石全集・山口剛著作集・小山内薫全集・稻垣足穂大全・蘆花全集・桑原武夫全集・小林秀雄全集・啄木全集・斎藤茂吉全集・太宰治全集・堀辰雄全集・子規全集・萩原朔太郎全集・坪田譲治全集・夏目漱石全集・櫻井忠温全集・立原道造全集・ヴァレリー全集・ボードレール全集・ストエーフスキイ全集・エリオット全集・ランボオ全集・カ

下
600
京都市下京区七条通堀川角
谷 書 店

〒606
京都市左京区一乗寺里ノ前町24-112
石川古本店

〒602
京都市上京区今出川通り寺町西入

藤原北御所書房

電話（〇七五）二四一一一五九九

下 602 京都市上京区今出川通り寺町西入

藤原北御所書房

電話(〇七五)二四一—二五九八

言葉の技術

日本語の悲劇

言語の諸相

国文学の性格

国文学群像

国文学歴代選

国文学史講話

日本文学全史

幼児語の形態論的な分析

日本文芸論の世界

日本性格の文学

歌語字数考

日本歌謡の音楽と歌詞の研究

日本歌謡とその女性観

平安朝の日記文学

下巻

万葉省察

第一

平安朝編

吉澤義則

昭17

枕草紙

三五〇

源氏物語とその女性観

教育觀・文学觀・付人名辭典系図

寺内清之助

昭45

佐々木信綱

昭15

吉沢義則

昭4

佐々木信綱

昭4

吉沢義則

昭4

佐々木信綱

〒604

京都市中京区河原町通三条上ル
(朝日会館前)

才書店

一農学・造園特集

電話(〇七五)二三一七六三四
振替京都一七六四〇

1 農書目録	有隣堂 明	四、四〇〇
2 大日本農功伝	農商務省編	三、八〇〇
3 昭和篤農伝	農政記者会	二、四〇〇
4 享保の義農作兵衛	相原熊太郎	三、〇〇〇
5 佐藤信淵	古志太郎(土の傳人著)	大 3
6 船津伝次郎	和田伝(著)	一、四〇〇
7 石川理紀之助	伊藤永之介(著)	一、四〇〇
8 稲穂長者(一名安太郎神)	巖谷小波	一、四〇〇
9 米百俵	山本有三(小林成なる著者)	一、四〇〇
10 菓子に叫ぶ	松田甚次郎(著)	一、四〇〇
11 新民鑑月集	松浦宗案(愛媛県教育会企画部編)	昭 8
12 農村文化	早川孝太郎(ぐるりあ・そえて)	一、四〇〇
13 農村生活の伝統	和田伝	一、四〇〇
14 小説模範町村	横井傳正(著)	一、四〇〇
15 実用農業篇(上巻)	宇都宮貢子(著)	一、四〇〇
16 悅紀弇田記録	新潮社(著)	一、四〇〇
17 稲作改良法	森喜太郎(編)	一、四〇〇
18 精耕農事之友	森喜太郎(編)	一、四〇〇
19 御即位及大嘗祭	赤堀又次郎	一、四〇〇
20 日本小作料論	田辺勝正(著)	一、四〇〇
21 実用農業篇(下巻)	宇都宮貢子(著)	一、四〇〇
22 悅紀弇田記録	新潮社(著)	一、四〇〇
23 稲作改良法	吉村清尚(著)	一、四〇〇
24 稲作改良論	大脇正淳(著)	一、四〇〇
25 稲作改良法	横井時敬(著)	一、四〇〇
26 稲作改良法	古市与一郎(著)	一、四〇〇
27 稲作改良法	有隣堂 大 3	三、〇〇〇
28 稲作改良論	鈴木富治(著)	三、〇〇〇
29 稲作改良法	米穀論(著)	三、〇〇〇
30 小麦說	横井時敬(著)	三、〇〇〇
31 甘藷栽培と其の栽培法	佐藤信淵(著)	三、〇〇〇
32 薏苡の栽培	佐藤信淵(著)	三、〇〇〇
33 甘藷と澱粉百年の歩み	山本久助(著)	三、〇〇〇
34 関藤之介	関藤之介(著)	三、〇〇〇

35 実験柿栽培法	池本文雄(著)	四、〇〇〇
36 光榮の茶葉	静岡県茶業組合編(余良豊立農事試験場編)	四、〇〇〇
37 茶樹と挿木繁殖と育苗	恩田鉄弥・村松春太郎(木版圖版入)	四、〇〇〇
38 新撰用養蚕独案内	石井永次郎(木版圖版入)	四、〇〇〇
39 畜種論	外山龜太郎	四、〇〇〇
40 烟草栽培改良新書	志賀雷山他	四、〇〇〇
41 烟草の卷	石井研堂(少年工芸文庫)	四、〇〇〇
42 烟草製造創業三十五年誌	新潮社(著)	四、〇〇〇
43 通俗日用化学全書・煙草篇	博文館(著)	四、〇〇〇
44 烟草栽培改良新書	島根県たばこ耕作史(松山地方たばこ耕作組合編)	四、〇〇〇
45 噸煙と人生	川田敏治	四、〇〇〇
46 烟草の卷	石井研堂(少年工芸文庫)	四、〇〇〇
47 噌煙と人生	川田敏治	四、〇〇〇
48 古庭園のみかた―美と構成	吉川需(著)	四、〇〇〇
49 お庭の坪庭	上原敬二(著)	四、〇〇〇
50 庭のつくり方	上原敬二(著)	四、〇〇〇
51 小形研三作品集―庭・自然と造形	上原敬二(著)	四、〇〇〇
52 施工本位石組写真集	上原敬二(著)	四、〇〇〇
53 石組と池泉の技法	上原敬二(著)	四、〇〇〇
54 庭づくりの構想と技法	西田富三郎(著)	四、〇〇〇
55 石庭・石組その手法	平岡宏歸(著)	四、〇〇〇
56 石庭のつくり方	池田二郎(著)	四、〇〇〇
57 現代造園	農業図書(著)	四、〇〇〇
58 古庭園のみかた―美と構成	吉川需(著)	四、〇〇〇
59 お庭の坪庭	上原敬二(著)	四、〇〇〇
60 庭のつくり方	上原敬二(著)	四、〇〇〇
61 小形研三作品集―庭・自然と造形	上原敬二(著)	四、〇〇〇
62 施工本位石組写真集	上原敬二(著)	四、〇〇〇
63 石組と池泉の技法	上原敬二(著)	四、〇〇〇
64 庭づくりの構想と技法	西田富三郎(著)	四、〇〇〇
65 石庭・石組その手法	平岡宏歸(著)	四、〇〇〇
66 石庭のつくり方	池田二郎(著)	四、〇〇〇
67 現代造園	農業図書(著)	四、〇〇〇
68 お庭の坪庭	上原敬二(著)	四、〇〇〇
69 お庭の坪庭	上原敬二(著)	四、〇〇〇
70 お庭の坪庭	上原敬二(著)	四、〇〇〇
71 お庭の坪庭	上原敬二(著)	四、〇〇〇
72 お庭の坪庭	上原敬二(著)	四、〇〇〇
73 お庭の坪庭	上原敬二(著)	四、〇〇〇
74 お庭の坪庭	上原敬二(著)	四、〇〇〇
75 お庭の坪庭	上原敬二(著)	四、〇〇〇
76 お庭の坪庭	上原敬二(著)	四、〇〇〇
77 お庭の坪庭	上原敬二(著)	四、〇〇〇
78 お庭の坪庭	上原敬二(著)	四、〇〇〇
79 お庭の坪庭	上原敬二(著)	四、〇〇〇
80 お庭の坪庭	上原敬二(著)	四、〇〇〇
81 お庭の坪庭	上原敬二(著)	四、〇〇〇
82 お庭の坪庭	上原敬二(著)	四、〇〇〇
83 お庭の坪庭	上原敬二(著)	四、〇〇〇
84 お庭の坪庭	上原敬二(著)	四、〇〇〇
85 お庭の坪庭	上原敬二(著)	四、〇〇〇
86 お庭の坪庭	上原敬二(著)	四、〇〇〇
87 お庭の坪庭	上原敬二(著)	四、〇〇〇
88 お庭の坪庭	上原敬二(著)	四、〇〇〇
89 お庭の坪庭	上原敬二(著)	四、〇〇〇
90 お庭の坪庭	上原敬二(著)	四、〇〇〇
91 お庭の坪庭	上原敬二(著)	四、〇〇〇
92 お庭の坪庭	上原敬二(著)	四、〇〇〇
93 お庭の坪庭	上原敬二(著)	四、〇〇〇
94 お庭の坪庭	上原敬二(著)	四、〇〇〇
95 お庭の坪庭	上原敬二(著)	四、〇〇〇
96 お庭の坪庭	上原敬二(著)	四、〇〇〇
97 お庭の坪庭	上原敬二(著)	四、〇〇〇
98 世界の植物百科	F·A·ノバク	四、〇〇〇
99 本草辞典	清水藤太郎	四、〇〇〇
100 植物漢和辞典	春陽堂(著)	四、〇〇〇
101 大日本普通植物誌	山海堂(著)	四、〇〇〇
102 日本高山植物図説	大稻田農園(著)	四、〇〇〇
103 単子葉植物II	齊田功太郎(著)	四、〇〇〇
104 古今药物別名考	劉亞農(著)	四、〇〇〇
105 分類農村語彙(上)	柳田國男(著)	四、〇〇〇
106 横浜植物調査報告	明 33	四、〇〇〇
107 ウリバエの生態並防除に関する研究成績	明 34	四、〇〇〇

◎当店目録「紙魚の便り」一郷土史・誌特集発行しました。	送料70円(切手可)
107 ウリバエの生態並防除に関する研究成績	明 34
106 横浜植物調査報告	明 34
105 分類農村語彙(上)	柳田國男(著)
104 古今药物別名考	劉亞農(著)
103 単子葉植物II	齊田功太郎(著)
102 日本高山植物図説	大稻田農園(著)
101 大日本普通植物誌	山海堂(著)
100 植物漢和辞典	春陽堂(著)
99 本草辞典	清水藤太郎
98 世界の植物百科	F·A·ノバク
97 世界のバラ	カラーブラック
96 日本タケ科植物総目録	早稻田農園(著)
95 日本書房	明 42
94 園芸全書(改訂版)	明 42
93 百合及除虫菊栽培録	明 42
92 菊花栽培	明 42
91 菊花栽培	明 42
90 菊花栽培	明 42
89 菊花栽培	明 42
88 菊花栽培	明 42
87 菊花栽培	明 42
86 菊花栽培	明 42
85 菊花栽培	明 42
84 菊花栽培	明 42
83 菊花栽培	明 42
82 菊花栽培	明 42
81 菊花栽培	明 42
80 菊花栽培	明 42
79 菊花栽培	明 42
78 菊花栽培	明 42
77 菊花栽培	明 42
76 菊花栽培	明 42
75 菊花栽培	明 42
74 菊花栽培	明 42
73 菊花栽培	明 42
72 菊花栽培	明 42
71 菊花栽培	明 42
70 菊花栽培	明 42
69 日本国花大百科事典	明 42
68 飛鳥・奈良・平安の庭園	明 42
67 庭園論	明 42
66 西沢文隆小論集(2)(3)	明 42
65 重森三玲	明 42
64 誠文堂新光社	明 42
63 重森三玲	明 42
62 重森三玲	明 42
61 重森三玲	明 42
60 重森三玲	明 42
59 重森三玲	明 42
58 重森三玲	明 42
57 重森三玲	明 42
56 重森三玲	明 42
55 重森三玲	明 42
54 重森三玲	明 42
53 重森三玲	明 42
52 重森三玲	明 42
51 重森三玲	明 42
50 重森三玲	明 42
49 重森三玲	明 42
48 重森三玲	明 42
47 重森三玲	明 42
46 重森三玲	明 42
45 重森三玲	明 42
44 重森三玲	明 42
43 重森三玲	明 42
42 重森三玲	明 42
41 重森三玲	明 42
40 重森三玲	明 42
39 重森三玲	明 42
38 重森三玲	明 42
37 重森三玲	明 42
36 重森三玲	明 42
35 重森三玲	明 42
34 重森三玲	明 42
33 重森三玲	明 42
32 重森三玲	明 42
31 重森三玲	明 42
30 重森三玲	明 42
29 重森三玲	明 42
28 重森三玲	明 42
27 重森三玲	明 42
26 重森三玲	明 42
25 重森三玲	明 42
24 重森三玲	明 42
23 重森三玲	明 42
22 重森三玲	明 42
21 重森三玲	明 42
20 重森三玲	明 42
19 重森三玲	明 42
18 重森三玲	明 42
17 重森三玲	明 42
16 重森三玲	明 42
15 重森三玲	明 42
14 重森三玲	明 42
13 重森三玲	明 42
12 重森三玲	明 42
11 重森三玲	明 42
10 重森三玲	明 42
9 重森三玲	明 42
8 重森三玲	明 42
7 重森三玲	明 42
6 重森三玲	明 42
5 重森三玲	明 42
4 重森三玲	明 42
3 重森三玲	明 42
2 重森三玲	明 42
1 重森三玲	明 42

大元

604

京都市中京区寺町通錦上ル

書

電話(〇七五)二二二一〇六八五
振替京都三一六八五

堂



国周画 いれずみ版画 開化鳴海浴衣揃
3枚綴 ￥40,000



芳年画 いれずみ
版画美勇水滸伝魔
陀羅丸 ￥15,000



国周画 いれずみ版画 見立若三人 3枚綴 ￥35,000



芳年画 いれずみ
版画美勇水滸伝金
神長五郎 ￥15,000



芳年画 いれずみ
版画月百姿 九紋
竜 ￥25,000



豊国画 いれずみ
版画大工六三 ￥15,000



国周画 市川左團次 3枚綴 ￥25,000



周延画 いれずみ版画 見立水滸伝 3枚綴 ￥45,000



重清画 従東京上野至武州熊ヶ谷
蒸気車往復繁榮之図 3枚綴 ￥100,000



国周画 いれずみ版画 夏祭浪花鑑 3枚綴 ￥40,000



豊宜画 関白秀吉公於御前三十六番角觴之図
3枚綴 ￥150,000



国周画 いれずみ版画 檜四天王大山へ
3枚綴 ￥50,000

文藻堂

〒604 京都市中京区新烏丸通竹屋町上ル

電話 (075-231-1914)

- 1 林羅山 短冊 雪夜來歸地雪望裡翠松
夜晚歸地雪望裡翠松
白地 三〇,000円
- 2 大徳寺天祐 短冊 蜀段誰將似水裁錦雲落隆雪裝台
凌波不見春風面事負菱花一沼開
裏面極書 金泥下絵
三〇,000円
- 3 橋守部 短冊 野外月の明るさ／月にうかる／むさし野は
月の明るさ／そ限りなりけれ
守部
10,000円
- 4 田中大秀 短冊 池上月いけの面にうつろふ月の影みれば
大秀
10,000円
- 5 村瀬太乙 短冊 醉到斜陽去自閑峰
醉食君看取處々蒼々小牧山
大乙老人印
キズ有 六,000円
- 6 吉田令世 短冊 題有賣重待ぬし九月の初め江戸へゆく馬の
題はなむけにうらやましといふことをかくして
六,000円
- 7 加納諸平 短冊 題待月
六,000円
- 8 与謝野晶子 色紙(18×21厘)
梅美 朱地金泥 八〇,000円
- 9 石博千亦 色紙(18×21厘)
絹本金地(僅力二傷) 一五,000円
- 10 大須賀乙字 短冊 青海をそれがこゝるりつゝきたる
恋のさかひと思ひけるかな 晶子
大須賀乙字 短冊 花粉流れの土筆となりぬ 淡雪に
玉じやりのおとさく／＼にふみにつ、
神代ながらの古き家とふ 千亦
絹本極美 三五,000円
- 11 原石鼎 短冊 灯の霧に醉漢どうと伏すもよし
10,000円
- 12 佐藤紅緑 短冊 夕日に廻さし出せば鶯のこゑ 紅
極美 一六,000円
- 13 白田亞浪 画賛短冊 桜邊一干露陽炎日に余り
絹本僅二傷 一〇,000円

〒612 京都市伏見区深草稻荷鳥居前町22

山崎書店

1 幕末・明治・大正・昭和・日本人物百年史	京都新聞	昭23	四、八〇〇
2 画報 近代百年史(二八五)~(一九〇) 十九冊揃	昭26	三、八〇〇	
3 画報 新説日本史(一)~(四)の内(二)(六)(八)欠	昭33	三、八〇〇	
4 ドキュメント昭和史 八冊揃	昭40	三、八〇〇	
5 昭和史発掘 松本清張 一~十三	昭49	三、八〇〇	
6 日米交渉百年史 洋々社	昭33	四、八〇〇	
7 日本国民史 賢文館	昭40	四、八〇〇	
8 近代日本国民史 笹子修三	昭40	四、八〇〇	
9 日本歴史のあけぼの 清野謙次	昭33	三、八〇〇	
10 東洋史上の日本民族 鈴木俊	昭33	三、八〇〇	
11 大東亞史の構想 矢野仁一	昭33	三、八〇〇	
12 大東亞史物語 井出浅龜	昭33	三、八〇〇	
13 歴史と民族の發見 石母田正一	昭33	三、八〇〇	
14 世界文化と日本文化 阿部次郎	昭33	三、八〇〇	
15 人物日本史 川崎庸之編	昭33	三、八〇〇	
16 傳統思想と日本精神 深作安文	昭33	三、八〇〇	
17 (続)日本思想史研究(九)(十)(十一)	昭33	三、八〇〇	
18 思想と日本 平泉澄	昭33	三、八〇〇	
19 時代と文化 村岡典嗣	昭33	三、八〇〇	
20 国家 その現実と変革 作田莊一	昭33	三、八〇〇	
21 國家論 日本思想講座(九)(十)(十一)	昭33	三、八〇〇	
22 人格主義 田代次郎	昭33	三、八〇〇	
23 日本における陽明学の系譜 平野義太郎	昭33	三、八〇〇	
24 華道と日本精神 G.L.ヘリゲル	昭33	三、八〇〇	
25 水戸學隨筆 西村文則	昭33	三、八〇〇	
26 昭和刊行会 筑摩	昭33	三、八〇〇	
27 近代精神素描 野田又夫	昭33	三、八〇〇	
28 歴史的精神 肥後和男	昭33	三、八〇〇	
29 日本世界觀 秋山謙藏	昭33	三、八〇〇	
30 我國體觀念の發達 深作安文	昭33	三、八〇〇	
31 武士道 山岡鐵舟口述	昭33	三、八〇〇	
32 天皇制国家論争 小山忠健	昭33	三、八〇〇	
33 圣德太子の憲法 佐伯定胤	昭33	三、八〇〇	
34 朝日新聞印	昭33	三、八〇〇	
35 現代人物評論 馬場恒吾	昭33	三、八〇〇	
36 球体賞萬公印	昭33	三、八〇〇	
37 三橋實萬公印	昭33	三、八〇〇	
38 天皇制と社会主義 佐野学	昭33	三、八〇〇	
39 吉田松陰の精神 吉田松陰	昭33	三、八〇〇	
40 吉田松陰と月性と黙霖 吉田松陰	昭33	三、八〇〇	
41 吉田松陰の精神 陶山務 陶山務	昭33	三、八〇〇	
42 大西郷遺訓 頭山満	昭33	三、八〇〇	
43 杉田玄白・高野長英 吉田三郎	昭33	三、八〇〇	
44 中江藤樹の人生觀 陶山務	昭33	三、八〇〇	
45 二宮尊徳 その生涯と思想 寺田文夫	昭33	三、八〇〇	
46 立国の大木 (非完) 板垣退助	昭33	三、八〇〇	
47 増補元田先生進講録 德富蘆花	昭33	三、八〇〇	
48 美談逸話名集 大日本雄辯會講習社	昭33	三、八〇〇	
49 日本二千六百年史 大川周明	昭33	三、八〇〇	
50 日本書紀の勝利 島津源三	昭33	三、八〇〇	
51 日本科字の勝利 松川志摩三	昭33	三、八〇〇	
52 日本文化と日本佛教 伊藤恵	昭33	三、八〇〇	
53 象徵的人間 高坂正顯	昭33	三、八〇〇	
54 神話哲学 高坂正顯	昭33	三、八〇〇	
55 世界史的立場と日本 高坂正顯	昭33	三、八〇〇	
56 東洋の理想 岡倉天心	昭33	三、八〇〇	
57 日本精神の哲学 広子木原信	昭33	三、八〇〇	
58 亞細亞の共感 (見ひきを出て) 辻政信	昭33	三、八〇〇	
59 道元と日本哲学 木村卯之	昭33	三、八〇〇	
60 祖國への愛と認識 倉田百三	昭33	三、八〇〇	
61 初版理想社 文川堂	昭33	三、八〇〇	
62 祖國への愛と認識 倉田百三	昭33	三、八〇〇	
63 戦後英米学校巡り 牧田宗太郎	昭33	三、八〇〇	
64 國文總動員に面しての國民教育の理論的反省 佐藤熊治郎	昭33	三、八〇〇	
65 統一商人として 相馬愛藏	昭33	三、八〇〇	
66 革新政治家の米國 朝日時局誌本六	昭33	三、八〇〇	
67 善人の書 ヘルン	昭33	三、八〇〇	
68 太田伍長の陣中手記	昭33	三、八〇〇	
69 戰争と短歌 早川幾忠	昭33	三、八〇〇	
70 憲法制定と歐米人の評論 いたみ	昭33	三、八〇〇	
71 金子堅太郎	昭33	三、八〇〇	
72 現代人物評論 馬場恒吾	昭33	三、八〇〇	
73 球体賞萬公印	昭33	三、八〇〇	
74 英雄待望論 鶴見祐輔	昭33	三、八〇〇	
75 幽因回顧錄 今村均	昭33	三、八〇〇	
76 大日本雄辯會秋田書店	昭33	三、八〇〇	
77 「マイン・カンプ」研究石川準十郎	昭33	三、八〇〇	
78 ドイツ史話 國地與四松	昭33	三、八〇〇	
79 第三帝國の興亡(一)(二)(三) W.L.シャイラー	昭33	三、八〇〇	
80 ヒンデンブルクからドラーへ ウィーラベネット	昭33	三、八〇〇	
81 ドイツ共産黨 猪木正道	昭33	三、八〇〇	
82 スターリン略伝 アテネ新書	昭33	三、八〇〇	
83 戰後日本の歴史 井上清 現代評論社	昭33	三、八〇〇	
84 日本を決定した百年 吉田茂	昭33	三、八〇〇	
85 世界中の日本百年 余田雄次	昭33	三、八〇〇	
86 マッカーサー回想記(上下) 朝日新聞社	昭33	三、八〇〇	
87 世界史現代日本文明史(11巻) 朝日新聞社	昭33	三、八〇〇	
88 世界を震撼せる十日間 三光社	昭33	三、八〇〇	
89 鐵鎖(嵐の中国の書信) 朝日新聞社	昭33	三、八〇〇	
90 世界史現代日本文明史(11巻) 朝日新聞社	昭33	三、八〇〇	
91 孫文 高橋勇治	昭33	三、八〇〇	
92 毛沢東の国 ラージャ・フーンーシン	昭33	三、八〇〇	
93 満鐵を語る 松岡洋右	昭33	三、八〇〇	
94 米つくり 宮島昭二	昭33	三、八〇〇	
95 アメリカの良心(ルーズベルト夫人伝) ケネディの道	昭33	三、八〇〇	
96 シオドア・ソレンセン	昭33	三、八〇〇	
97 リー・ズベルト夫人伝	昭33	三、八〇〇	
98 永世中立と日本の安全保障 伊藤正徳	昭33	三、八〇〇	
99 新聞五十年史 伊藤正徳	昭33	三、八〇〇	
100 アジアの新聞 J.A.レント	昭33	三、八〇〇	
101 在日韓国人の歴史と現実	昭33	三、八〇〇	
102 滿州 横濱洋右	昭33	三、八〇〇	
103 軍國主義の歴史 I~IV	昭33	三、八〇〇	
104 ドキュメント太平洋戦争 六冊	昭33	三、八〇〇	
105 カストリーナ雑誌による戦後史 フィリップ・クック	昭33	三、八〇〇	
106 日本民族の心 高山岩男	昭33	三、八〇〇	
107 金星社 岩波書店	昭33	三、八〇〇	
108 現代の眼編集 現代評論社	昭33	三、八〇〇	
109 球体賞萬公印	昭33	三、八〇〇	
110 瑞穂の国 大規正男	昭33	三、八〇〇	
111 戰後思想家論 佐藤正巳	昭33	三、八〇〇	
112 右翼テロ 木下半治	昭33	三、八〇〇	
113 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
114 真珠灣 ブレーク・クランク	昭33	三、八〇〇	
115 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
116 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
117 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
118 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
119 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
120 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
121 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
122 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
123 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
124 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
125 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
126 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
127 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
128 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
129 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
130 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
131 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
132 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
133 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
134 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
135 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
136 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
137 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
138 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
139 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
140 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
141 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
142 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
143 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
144 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
145 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
146 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
147 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
148 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
149 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
150 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
151 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
152 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
153 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
154 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
155 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
156 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
157 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
158 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
159 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
160 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
161 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
162 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
163 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
164 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
165 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
166 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
167 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
168 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
169 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
170 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
171 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
172 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
173 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
174 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
175 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
176 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
177 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
178 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
179 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
180 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
181 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
182 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
183 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
184 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
185 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
186 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
187 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
188 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
189 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
190 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
191 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
192 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
193 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
194 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
195 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
196 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
197 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
198 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
199 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
200 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
201 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
202 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
203 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
204 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
205 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
206 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
207 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
208 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
209 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
210 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
211 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
212 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
213 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
214 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
215 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
216 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
217 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
218 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
219 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
220 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
221 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
222 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
223 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
224 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
225 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
226 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
227 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
228 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
229 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
230 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
231 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
232 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
233 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
234 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
235 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
236 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
237 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
238 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
239 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
240 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
241 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
242 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
243 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
244 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
245 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
246 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
247 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
248 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
249 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
250 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
251 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
252 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
253 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
254 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
255 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
256 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
257 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
258 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
259 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
260 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
261 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
262 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
263 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
264 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
265 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
266 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
267 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
268 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
269 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
270 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
271 朝日新聞外報部 法律文化社	昭33	三、八〇〇	
272 朝日新聞			

卷之三

卷之三

〒602
京都市上京区烏丸通り上御靈前下ル
上御靈前町四一二

〒602
京都市上京区烏丸通今出川上
同志社正門前

萩書

房

沢田書

電話(〇七五)七八

三五三

七
一

電話(〇七五)七八

三五三

七

電話
(〇七五) 四五二

五
二
三

電話(〇七五)七八

三五三

七

電話
(〇七五) 四五二

五
二
三

御注文は各書店へ

1	甲乙丙丁上・下	中野重治	一冊	函初昭四六〇
2	内なる辺境	安部公房	一冊	函初昭四六一
3	砂の上の植物群	吉行淳之介	一冊	函初昭四六二
4	閑な老人	尾崎一雄	一冊	函初昭四六三
5	谷崎潤一郎論	野口武彦	一冊	函初昭四六四
6	三条木屋町通り	水上勉	一冊	函初昭四六五
7	おきん	川端康成	一冊	函初昭四六六
8	私の人生観	天野貞祐	一冊	函初昭四六七
9	ある心の自敍伝	長谷川如是閑	一冊	函初昭四六八
10	ある社会主義者の半生	鈴木茂三郎	一冊	函初昭四六九
11	虹	丹羽文雄	一冊	函初昭四七〇
12	雁	坂井基始良著作集 「一、二、三巻」	一冊	函初昭四七一
13	生きてゐる兵隊	林芙美子	一冊	函初昭四七二
14	浅草寺附近	塩谷賛	一冊	函初昭四七三
15	茂吉の周辺	結城哀草果	一冊	函初昭四七四
16	それでも地球は動く	斎藤茂太	一冊	函初昭四七五
17	露伴と遊び	山上次郎	一冊	函初昭四七六
18	斎藤茂吉の生涯	古川哲史	一冊	函初昭四七七
19	童馬山房夜話 第四	伊那谷・木曾谷	一冊	函初昭四七八
20	日本山岳名著全集 6	函無	一冊	函初昭四七九
21	世界山岳名著全集 12	（ハ）（ハ）（メートル）	一冊	函初昭四八〇
22	比島戦記	北島派遣軍報道郎	一冊	函初昭四八一
23	定本齊藤茂吉	日本文学報国会編	一冊	函初昭四八二
24	演劇の理念	未来社	一冊	函初昭四八三
25	森山大道につばん劇場写真集	寺山修司	一冊	函初昭四八四
26	日本の百年	毎日新聞社	一冊	函初昭四八五
27	古賀春江詩画集	昭和	一冊	函初昭四八六
28	古賀春江詩画集	昭和	一冊	函初昭四八七
29	古賀春江詩画集	昭和	一冊	函初昭四八八
30	古賀春江詩画集	昭和	一冊	函初昭四八九
31	古賀春江詩画集	昭和	一冊	函初昭四九〇
32	古賀春江詩画集	昭和	一冊	函初昭四九一
33	古賀春江詩画集	昭和	一冊	函初昭四九二
34	古賀春江詩画集	昭和	一冊	函初昭四九三
35	古賀春江詩画集	昭和	一冊	函初昭四九四
36	古賀春江詩画集	昭和	一冊	函初昭四九五
37	古賀春江詩画集	昭和	一冊	函初昭四九六
38	古賀春江詩画集	昭和	一冊	函初昭四九七
39	古賀春江詩画集	昭和	一冊	函初昭四九八
40	古賀春江詩画集	昭和	一冊	函初昭四九九
41	古賀春江詩画集	昭和	一冊	函初昭五〇〇
42	古賀春江詩画集	昭和	一冊	函初昭五〇一
43	古賀春江詩画集	昭和	一冊	函初昭五〇二
44	古賀春江詩画集	昭和	一冊	函初昭五〇三
45	古賀春江詩画集	昭和	一冊	函初昭五〇四
46	古賀春江詩画集	昭和	一冊	函初昭五〇五
47	古賀春江詩画集	昭和	一冊	函初昭五〇六
48	古賀春江詩画集	昭和	一冊	函初昭五〇七
49	古賀春江詩画集	昭和	一冊	函初昭五〇八
50	古賀春江詩画集	昭和	一冊	函初昭五〇九
51	古賀春江詩画集	昭和	一冊	函初昭五一〇
52	古賀春江詩画集	昭和	一冊	函初昭五一一
53	古賀春江詩画集	昭和	一冊	函初昭五一二

1	靈肉の新	附圖付	秦正堂	共生会	大12	
2	思想統一聖道	浅岡信堂			七、〇〇	
3	言語に映じたる原人の思想				五、〇〇	
4	平田家文書	小川寿一編			三、〇〇	
5	明治開化史論	栗原信一			二、〇〇	
6	私殘記	印有			一、〇〇	
7	日本基督教史全	比屋根安定			一、〇〇	
8	日本聖公会百年史	松平惟太郎			一、〇〇	
9	羅馬盛衰記	占部百太郎			一、〇〇	
10	西洋見学	野上豊一郎	開拓社	昭33	一、〇〇	
11	北京案内記	安藤更生編	日本評論社	昭16	二、〇〇	
12	山水隨縁記	新民印書館	昭16	二、〇〇	二、〇〇	
13	目で見る氣仙沼の歴史	民友社	昭34	二、〇〇	二、〇〇	
14	古今和歌字比麻奈飛全集	鈴木重胤	昭47	三、〇〇	三、〇〇	
15	萬葉集の芸術性	森本治吉	修文館	昭53	三、〇〇	三、〇〇
16	おくるのはそ道の記	吉田絢二郎	萬葉之日本	昭17	二、〇〇	二、〇〇
17	歌集傳	北原白秋	靖文社	昭19	二、〇〇	二、〇〇
18	名曲に聴く	野村光一	楳文社	昭19	二、〇〇	二、〇〇
19	歌集渓流唱	北原白秋	昭3	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
20	觀世流節の精解	柳原煙子	萬里閣書房	昭3	二、〇〇	二、〇〇
21	築紫子規	柳原煙子	河原書店	昭26	二、〇〇	二、〇〇
22	日本の職人	北原武夫	甲鳥書林	昭26	二、〇〇	二、〇〇
23	美術及工芸技術の保存	野村光一	創元社	昭15	二、〇〇	二、〇〇
24	世界最悪の旅	山崎俊譯	檜文書店	昭29	二、〇〇	二、〇〇
25	自動車の歴史	遠藤元男	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
26	神陵小史	印有	阪倉鶯太郎編	昭	二、〇〇	二、〇〇
27	日本古陶	蜷川第一	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
28	初版付	邦枝完二	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
29	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
30	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
31	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
32	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
33	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
34	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
35	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
36	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
37	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
38	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
39	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
40	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
41	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
42	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
43	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
44	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
45	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
46	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
47	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
48	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
49	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
50	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
51	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
52	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
53	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
54	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
55	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
56	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
57	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
58	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
59	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
60	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
61	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
62	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
63	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
64	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
65	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
66	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
67	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
68	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
69	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
70	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
71	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
72	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
73	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
74	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
75	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
76	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
77	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
78	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
79	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
80	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
81	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
82	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
83	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
84	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
85	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
86	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
87	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
88	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
89	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
90	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
91	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
92	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
93	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
94	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
95	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
96	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
97	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
98	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
99	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
100	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
101	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
102	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
103	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
104	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
105	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
106	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
107	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
108	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
109	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
110	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
111	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
112	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
113	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
114	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
115	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
116	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
117	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
118	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
119	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
120	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
121	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
122	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
123	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
124	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
125	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
126	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
127	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
128	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
129	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
130	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
131	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
132	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
133	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
134	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
135	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
136	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
137	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
138	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
139	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
140	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
141	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
142	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
143	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
144	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
145	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
146	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
147	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
148	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
149	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
150	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
151	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
152	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
153	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
154	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
155	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
156	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
157	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
158	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
159	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
160	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
161	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
162	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
163	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
164	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
165	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
166	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
167	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
168	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
169	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
170	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
171	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
172	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
173	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
174	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
175	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
176	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
177	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
178	日本版画	昭	二、〇〇	二、〇〇		

1	浮世絵大系	江戸時代図誌	函付十七冊揃	電話（〇七五）四五一一〇五三三
2	日本史探訪	函付十七冊揃	角川書店	昭51
3	日本の合戦	函付九冊揃	人物往来社	昭49
4	和田一族	函付十八冊揃	集英社	昭50
5	時代風俗綜覧	函付江馬務	政経書院	昭50
6	中国の歴史	増訂日本服飾史要	星野書店	昭三、二〇〇
7	人物現代史	函付十冊揃	講談社	昭七、四〇〇
8	和田一族	大森実	講談社	昭六、四〇〇
9	時代風俗綜覧	十三冊揃	講談社	昭九、四〇〇
10	中国の歴史	函付十一冊揃	講談社	昭五、二〇〇
11	定本法隆寺	函付十二冊揃	講談社	昭五、二〇〇
12	京都府北南桑田郡誌、船井郡誌	函付十三冊揃	講談社	昭五、二〇〇
13	Nヌエウツトバリ	日本家系家紋研	昭五、二〇〇	五、二〇〇
14	建築様式	小林・鈴木訳	東大出版	昭三、二〇〇
15	大岡実	大岡実	大日本工業學会	昭一、二〇〇
16	夏目漱石	カバ一付	星野書店	昭二、二〇〇
17	鏡子の家	森田草平	甲鳥書林	昭一、二〇〇
18	絹と明察	三島由紀夫	新沢社	昭二、二〇〇
19	サド侯爵夫人	カバ一付	新沢社	昭二、二〇〇
20	絹と明察	三島由紀夫	新沢社	昭二、二〇〇
21	別冊新評	三島由紀夫	講談社	昭二、二〇〇
22	作家の死	カバ一付	集英社	昭三、二〇〇
23	ノアリス断章	日本文庫ドキュメント叢書	中央公論	昭三、二〇〇
24	小牧大夫	カバ一付	昭三、二〇〇	三、二〇〇
25	ブレイヒ論	改訂補闕	昭三、二〇〇	二、二〇〇
26	菅谷規矩雄	イザラ書房	昭三、二〇〇	一、二〇〇
27	ギリシア世界の黎明	イザラ書房	昭三、二〇〇	一、二〇〇
28	下女の子	カバ一付	吉川	昭三、二〇〇
29	オスマントルコ史論	岩波書店	昭三、二〇〇	一、二〇〇
30	大地のはらわた	吉川	昭三、二〇〇	一、二〇〇
31	政治哲学の諸問題	吉川	昭三、二〇〇	一、二〇〇
32	日本の文様 分冊売	吉川	昭三、二〇〇	一、二〇〇
33	1巻菊	吉川	昭三、二〇〇	一、二〇〇
34	2巻車	吉川	昭三、二〇〇	一、二〇〇
35	3巻琴	吉川	昭三、二〇〇	一、二〇〇
36	4巻扇	吉川	昭三、二〇〇	一、二〇〇
37	5巻器物	吉川	昭三、二〇〇	一、二〇〇
38	6巻唐草	吉川	昭三、二〇〇	一、二〇〇
39	7巻蝶	吉川	昭三、二〇〇	一、二〇〇
40	8巻水	吉川	昭三、二〇〇	一、二〇〇
41	9巻唐草	吉川	昭三、二〇〇	一、二〇〇
42	10巻竹	吉川	昭三、二〇〇	一、二〇〇
43	14巻松	吉川	昭三、二〇〇	一、二〇〇

三
604

八木書店古書部

電話(〇七五)八一一一三八九〇

下 604

京都市中京区丸太町通千本西入南側

八木書店古書部

電話 (〇七五) 八一一一三八九〇

1 田能村竹田筆 梅花古木の図	一幅 文政5	△、〇〇〇	
2 外交奇譲 芦花生訛演	初版 明31	二、五〇〇	
3 短冊 北上聖牛筆 梅花之図	金短冊	一五、〇〇〇	
4 早見紋帳大成 大坂岡田茂兵衛版	明25	三、〇〇〇	
5 祇園南鳥居前 茶店蘆屋之図	江戸末	一五、〇〇〇	
6 我石画譚一集(四集)	美術評論文集 明28	二、五〇〇	
7 井蛙抄 三冊	銅版 江戸中	三、〇〇〇	
8 天台宗解新抄 上中下三冊	眞道誌 寛文2	三、〇〇〇	
9 松坂24ヶ所地藏詠歌 写本12丁	江戸末	二、〇〇〇	
10 古言梯 加茂真済大著 須原屋刊	日講聞原病学各論	満井見益写明切	五、〇〇〇
11 知非子影 二冊	繪入 人情雑誌1~20	銅版 明13~15	一五、〇〇〇
12 弘教改題同善新聞 明14年5月~8月	著者 著本道良重人	眞言宗外各宗	五、〇〇〇
13 芭蕉袖草紙下巻 浪花花屋庵奇跡校	黙池序文 肉筆	江戸末	二、〇〇〇
14 魯西亞細約并税則 写本	林道春 写本	江戸末	二、〇〇〇
15 北風社月並發刊	魯西亞細約并税則	安政5	二、〇〇〇
16 和歌式便覧 小野利敬 初版	和本 大7	三、〇〇〇	
17 藏紙符丁集 各藩への送品數字暗号帳	天保13	二五、〇〇〇	
18 百人一首小倉錦 絵入銅版豆本御幸町四条内藤明26	江戸初	三、〇〇〇	
19 信操(綱基舊教) 原口針水口述 於高田本山 明6	明25	二、〇〇〇	
20 歌行日課 林鳳宣著 日蓮宗本 和本	和本 大5	二、〇〇〇	
21 淡路國洲本細工所真下清太郎篆文記録裁判	発句草稿本 烏静庵筆	明17	二、〇〇〇
22 大東京市全図裏面区分別改正町名索引 写真入	芥子園画伝 一五六 合本三冊	明15	一、〇〇〇
23 中院通茂公筆 氏歌卷奥書通明公字のみ一巻	明15	一、〇〇〇	
24 妙行日課 林鳳宣著 日蓮宗本 和本	明15	一、〇〇〇	
25 淡路國洲本細工所真下清太郎篆文記録裁判	明治4孝 絵入 鈴木伊四郎編	明15	一、〇〇〇
26 信操(綱基舊教) 原口針水口述 於高田本山 明6	信操(綱基舊教) 原口針水口述 於高田本山 明6	明15	一、〇〇〇
27 南島方言語彙 山田 実	アイヌ語方言辞典 服部四郎編	昭29	一、〇〇〇
28 発句草稿本 烏静庵筆	大東京市全図裏面区分別改正町名索引 写真入	昭28	一、〇〇〇
29 田能村竹田筆 梅花古木の図	芦花生訛演	昭27	一、〇〇〇
30 田能村竹田筆 梅花古木の図	初版 明31	二、五〇〇	
31 田能村竹田筆 梅花古木の図	金短冊	一五、〇〇〇	
32 田能村竹田筆 梅花古木の図	美術評論文集 明28	二、五〇〇	
33 田能村竹田筆 梅花古木の図	銅版 江戸中	三、〇〇〇	
34 田能村竹田筆 梅花古木の図	江戸末	二、〇〇〇	
35 田能村竹田筆 梅花古木の図	江戸末	二、〇〇〇	
36 田能村竹田筆 梅花古木の図	江戸末	二、〇〇〇	
37 田能村竹田筆 梅花古木の図	江戸末	二、〇〇〇	
38 田能村竹田筆 梅花古木の図	江戸末	二、〇〇〇	
39 田能村竹田筆 梅花古木の図	江戸末	二、〇〇〇	
40 濑州神社戰跡參拜満鉄各駅スタンプ印集折帳 昭34	北野天滿宮千年萬燈會写真帖 石井舟舟攝影燒付	明42	一、〇〇〇
41 竜馬・元和頃	競馬馬具典 大坂枚岡ダービー社刊	昭11	一、〇〇〇
42 新成復古日夜夜重宝佛席面鑑 淡海伊吹山陰	弘化4	三、〇〇〇	
43 神答儒答仏答外梅田無学 昭42	珍袖小字説本字引 西野古海編	昭14	三、〇〇〇
44 濑州神社戰跡參拜満鉄各駅スタンプ印集折帳 昭34	染の形紙 三十枚	明10	二、〇〇〇
45 京都出版文化研究会規約及会員名簿	満井見益写明切	明10	二、〇〇〇
46 京都出版文化研究会規約及会員名簿	丹波縞もめん帳実物製165点はり付	明16	二、〇〇〇
47 正風遠州活花独稽古 山花堂	八ヶ条御文聞書 般若窟擬講師説写本真宗本	明16	三、〇〇〇
48 俳諧綿衣 折帳本	明19	二、〇〇〇	
49 京都博物館歴史品目録図書之部	明治染見本帳 実物翌89点	明19	二、〇〇〇
50 出雲神話 後藤藏四郎	新町三条横田 明治中	明19	二、〇〇〇
51 詩集 あこがれ 石川啄木	鴨長明 古版	明26	二、〇〇〇
52 应燈 三祖乃假名法語	尾張国小折村富士塚碑誌并銘	明26	二、〇〇〇
53 俳句結社北風社中井三平旧藏投稿句一括	虫入汚	明33	二、〇〇〇
54 往生伝和解上下二冊 正聚房僧紙記	寛保4	二、〇〇〇	
55 伝光悦筆 和歌一幅 無署名	丹波縞もめん帳実物製165点はり付	明33	二、〇〇〇
56 伊藤伊吉	忍徵上人跋文	明45	二、〇〇〇
57 信濃善光寺全図	天和3	三、〇〇〇	
58 俳句結社北風社中井三平旧藏投稿句一括	新町三条横田 明治中	明45	二、〇〇〇
59 丹波縞もめん帳実物製165点はり付	鴨長明 古版	明45	二、〇〇〇
60 丹波縞もめん帳実物製165点はり付	新町三条横田 明治中	明45	二、〇〇〇
61 上書草稿	鴨長明 古版	明45	二、〇〇〇
62 鹿児嶋島土族和田八之進 明5	前継持守管長對山和尚筆	元享2	二、〇〇〇
63 大正豪炎誌 上巻 内務省編	大智禪師之偈頌	元享2	二、〇〇〇
64 文芸市場 沢田梶松追悼并八百屋お七追善 昭2	一幡	二、〇〇〇	
65 遺教經論住法記江州田上牧村真光寺書入	虫入汚	明31	二、〇〇〇
66 文芸市場 沢田梶松追悼并八百屋お七追善 昭2	龍谷大学教授 昭8	二、〇〇〇	
67 文芸市場 沢田梶松追悼并八百屋お七追善 昭2	江戸末	二、〇〇〇	
68 文芸市場 沢田梶松追悼并八百屋お七追善 昭2	江戸末	二、〇〇〇	
69 英国文学史 小川銀次郎	伊藤伊吉	明41	二、〇〇〇
70 鉄砲かけつめの次第 写本	韓語大成	明41	二、〇〇〇
71 相模國こゆるぎ考 吳文炳、土屋共著	伊藤伊吉	明41	二、〇〇〇
72 田能村竹田筆 梅花古木の図	江戸末	二、〇〇〇	
73 田能村竹田筆 梅花古木の図	江戸末	二、〇〇〇	
74 田能村竹田筆 梅花古木の図	江戸末	二、〇〇〇	
75 田能村竹田筆 梅花古木の図	江戸末	二、〇〇〇	
76 田能村竹田筆 梅花古木の図	江戸末	二、〇〇〇	
77 田能村竹田筆 梅花古木の図	江戸末	二、〇〇〇	
78 田能村竹田筆 梅花古木の図	江戸末	二、〇〇〇	
79 田能村竹田筆 梅花古木の図	江戸末	二、〇〇〇	
80 田能村竹田筆 梅花古木の図	江戸末	二、〇〇〇	
81 田能村竹田筆 梅花古木の図	江戸末	二、〇〇〇	
82 田能村竹田筆 梅花古木の図	江戸末	二、〇〇〇	
83 田能村竹田筆 梅花古木の図	江戸末	二、〇〇〇	
84 田能村竹田筆 梅花古木の図	江戸末	二、〇〇〇	
85 田能村竹田筆 梅花古木の図	江戸末	二、〇〇〇	
86 田能村竹田筆 梅花古木の図	江戸末	二、〇〇〇	
87 田能村竹田筆 梅花古木の図	江戸末	二、〇〇〇	
88 田能村竹田筆 梅花古木の図	江戸末	二、〇〇〇	
89 田能村竹田筆 梅花古木の図	江戸末	二、〇〇〇	
90 成田山全図 石版一紙	江戸末	二、〇〇〇	
91 嘉永4	江戸末	二、〇〇〇	
92 廣木先生追悼文集 吉井 勇	江戸末	二、〇〇〇	
93 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
94 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
95 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
96 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
97 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
98 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
99 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
100 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
101 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
102 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
103 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
104 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
105 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
106 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
107 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
108 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
109 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
110 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
111 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
112 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
113 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
114 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
115 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
116 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
117 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
118 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
119 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
120 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
121 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
122 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
123 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
124 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
125 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
126 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
127 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
128 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
129 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
130 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
131 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
132 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
133 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
134 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
135 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
136 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
137 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
138 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
139 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
140 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
141 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
142 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
143 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
144 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
145 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
146 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
147 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
148 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
149 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
150 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
151 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
152 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
153 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
154 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
155 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
156 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
157 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
158 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
159 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
160 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
161 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
162 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
163 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
164 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
165 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
166 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
167 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
168 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
169 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
170 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
171 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
172 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
173 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
174 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
175 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
176 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
177 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
178 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
179 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
180 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
181 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
182 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
183 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
184 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
185 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
186 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
187 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
188 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
189 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
190 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
191 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
192 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
193 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
194 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
195 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
196 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
197 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
198 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
199 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
200 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
201 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
202 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
203 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
204 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
205 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
206 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
207 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
208 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
209 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
210 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
211 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
212 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
213 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
214 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
215 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
216 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
217 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
218 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
219 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
220 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
221 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
222 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
223 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
224 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
225 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
226 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
227 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
228 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
229 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
230 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
231 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
232 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
233 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
234 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
235 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
236 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
237 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
238 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
239 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
240 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
241 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
242 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
243 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
244 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
245 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
246 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
247 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
248 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
249 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
250 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
251 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
252 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
253 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
254 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
255 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
256 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
257 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
258 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
259 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
260 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
261 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
262 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
263 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
264 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
265 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
266 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
267 伊藤伊吉	江戸末	二、〇〇〇	
268 伊藤伊吉	江戸末	二、	

御注文は各書店へ

〒600 京都市下京区寺町通伝光寺

三密堂書店

電話
振替 (○七五) 三五一
京都 三四七 一

1	佛教辭林	南條文雄著 明治書院
2	佛教概論	金子大栄著 岩波書店
3	仏教理概說	吉田龍英著 仏教大學昭10
4	印度仏教史	桜井善晃著 仏教大學昭10
5	印度の説話文学	徳永茅生著 仏教大學昭10
6	天寿国曼荼羅の研究	青木茂作著 鷗故廬舍昭10
7	五部秘經	朝倉玉雅編 智嶺新報社明37
8	密教概論	宇野圓空著 東方書院昭再三、五〇〇〇
9	維摩詰所説教	貝葉書院版 第一書房昭13
10	勝鬘經通解	小林一郎著 大同館大11
11	遺教經講話	高島米峰著 内山出版大10
12	四十二章經講話	高島米峰著 内山出版大8
13	四十唯識論述記	高島米峰著 貝葉書院昭再三、五〇〇〇
14	大智度論の物語	小林一郎著 大同館大11
15	妙法蓮華經	高島米峰著 内山出版大8
16	百発命中人間一生運氣之考	高島米峰著 内山出版大8
17	摩訶止觀	内山出版大8
18	法華經	内山出版大8
19	妙法蓮華經	内山出版大8
20	百発命中人間一生運氣之考	内山出版大8
21	百発命中人間一生運氣之考	内山出版大8
22	手相現象秘錄	中村文聰著 悠久書院昭55
23	方位家相早操圖解	小池善次郎述 東陽堂明29
24	家相方位早和かり	川田考吉著 二書房明26
25	萬性鑑識法秘伝	佐藤觀元著 明21
26	米相場諸物価高下變動予顯書	佐藤觀元著 明28
27	古典一点灸治穴集成	阪村修作編 京都灸師会昭12
28	鍼灸五經抄	阪村修作譯 京都灸師会昭12
29	澤流田流鍼灸道に就いて	半田屋昭10
30	漢病名解	山田國弼著 一、五〇〇〇
31	神職宝鑑	阪村修作編 京都灸師会昭12
32	三種の神器	半井眞澄編 碧梧書院明32
33	黒住教概說	本多辰次郎著 東方書院昭9

1	法藏心經墨疏	法藏述	寬文版後摺	大本
2	妄盡還源觀	法藏述	慶安版後摺	大本
3	天台智者代訓導記	日昇集之 寔文版	大本二冊	三、五〇〇〇
4	地藏菩薩本願經和解	妙有	天保版	大本
5	融通圓門章	大通	元祿版	大本
6	善惡種時鏡和讚	忍海	天保版	半紙
7	四座講式	川中嶋五戰記	水汚れ有り 表紙汚れ	大5
8	往生要集	田舎写本	寔政版	半紙三冊
9	通鑑	梅ヶ畑供御人等諸商賣事	半紙	大本
10	大岡仁政錄	山林竹木採採事	三十通	二、八〇〇〇
11	四大新報社	加茂社文書	明治初 （柳又闕關傳説名義）	一括三十通
12	川中嶋五戰記	上加茂社文書	年中日記（元禄六年六月七月記）	七通
13	田舎写本	賴母志譜帳	天保九年写合本	七、五〇〇〇
14	文化七年写合本	西行歌集	天保九年写合本	九、五〇〇〇
15	大5	吉見武繼藏書	天保九年写合本	九、五〇〇〇
16	大本	文政写本	天保九年写合本	九、五〇〇〇
17	冲昌奄	佩文韻府編	大虫噉本	一冊
18	完	綰秀閣板	唐本二十四冊揃	一〇、〇〇〇〇
19	滿蒙版	清朝未版	天保版横本二冊	一〇、〇〇〇〇
20	西藏經典	清朝末版	明治版半紙三冊	一〇、〇〇〇〇
21	滿蒙版	清朝未版	明治版半紙二冊	一〇、〇〇〇〇
22	西藏經典	清朝未版	半紙二冊	一〇、〇〇〇〇
23	西藏經典	清朝未版	明治版半紙二冊	一〇、〇〇〇〇
24	詩語碎金	唐宋聯珠詩格	明治版半紙二冊	一〇、〇〇〇〇
25	箋註蒙求校本	增補諸乘法數	明治版半紙二冊	一〇、〇〇〇〇
26	正續	四聲解環	明治版半紙二冊	一〇、〇〇〇〇
27	中井履軒	增補諸乘法數	明治版半紙二冊	一〇、〇〇〇〇
28	橋本寧	增註詩韻合璧	明治版半紙二冊	一〇、〇〇〇〇
29	銅版	和歌鶴川集	明治版半紙二冊	一〇、〇〇〇〇
30	寸珍本	道二先生御高札道話	明治版半紙二冊	一〇、〇〇〇〇
31	寸珍本	增註詩韻合璧	明治版半紙二冊	一〇、〇〇〇〇
32	寸珍本	和歌鶴川集	明治版半紙二冊	一〇、〇〇〇〇
33	小本五冊	道二先生御高札道話	明治版半紙二冊	一〇、〇〇〇〇
34	江戸末版	增註詩韻合璧	明治版半紙二冊	一〇、〇〇〇〇
35	明7	和歌鶴川集	明治版半紙二冊	一〇、〇〇〇〇
36	明18	道二先生御高札道話	明治版半紙二冊	一〇、〇〇〇〇
37	大2	半紙	半紙	半紙

33	32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	伏見稻荷大社年表	滋賀県勸業規則	先駆觀（原始文化双書）	赤道智善	橋川 正	明治 45	明治 42	明治 31	大正 7
32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	大丸二百五十年史	滋賀県勤業規則	馬レット圖書院	マレット本訳	前川文栄閣	明治 40	明治 39	明治 36	大正 6	
31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	大丸二百五十年史	滋賀県勤業規則	馬レット圖書院	マレット本訳	前川文栄閣	明治 40	明治 39	明治 36	大正 6		
30	29	28	27	26	25	24	23	22	大丸二百五十年史	滋賀県勤業規則	馬レット圖書院	マレット本訳	前川文栄閣	明治 40	明治 39	明治 36	大正 6			
29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11		
28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10		
27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9		
26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8		
25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7		
24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6		
23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5		
22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4		
21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3		
20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2		
19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1		
18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	1		

〒606 京都市左京区浄土寺西田町八十一の四
法律・経済・思想
一般書

竹岡書店

電話(075) 七六一四五四四
振替京都 四二六一二

統特集号 抜刷、小冊子

1 江戸時代における唐船荷物の資料	P 54	大庭脩	昭 40 40 40
2 制造船史「沙王忠武堂著合」について	P 18	大庭脩	昭 40 40 40
3 魏晋南北朝告身雜考	P 25	大庭脩	昭 40 40 40
4 居延出土之招書と招書簡について	P 38	大庭脩	昭 40 40 40
5 史記殊し唯物史觀の批判と科学的史觀の提唱	P 35	牧 健一	昭 40 40 40
6 魏晉の後方女王国の政治地理	P 24	牧 健一	昭 40 40 40
7 知行の原始段階—律令的知行の成立及び本質—	P 50	牧 健一	昭 40 40 40
8 「邪馬臺國問題の解明のために」とその補説	P 47	牧 健一	昭 40 40 40
9 魏志後編における官署の道里等書類の論説	P 33	牧 健一	昭 40 40 40
10 日本原始の部族及び部族群に亘る國家形成	P 31	牧 健一	昭 40 40 40
11 百濟亡命政權考	P 13	牧 健一	昭 40 40 40
12 幽居中の岩倉具視	P 27	羽光三津夫	昭 36 39 40
13 清代における合算の近代化の傾斜	P 49	林倉敬尚	昭 36 39 40
14 律令時代における老人の考察	P 28	今嶋謙二	昭 36 39 40
15 「御三家」の格式とその成立	P 6	天野敬太郎	昭 36 39 40
16 元代における地方監査機構の成立過程について	P 36	丹羽友二郎	昭 36 39 40
17 皇室典範の欧譯について	P 15	丹羽友二郎	昭 36 39 40
18 中国の西台について	P 24	林董一	昭 36 39 40
19 清代における村落の發展	P 33	増田福太郎	昭 36 39 40
20 フィンストの國家觀	P 16	大橋光雄	昭 36 39 40
21 一九二七の農村ビエト選舉	P 33	鈴木豊	昭 36 39 40
22 明治初期における土地所有権の形成	P 65	鈴木豊	昭 36 39 40
23 法解釈学の科学性	P 43	吉田力雄	昭 36 39 40
24 林野所有権の形成	P 43	吉田力雄	昭 36 39 40
25 生存権と朝日訴訟	P 43	川崎武夫	昭 36 39 40
26 事物の本性	P 43	川崎武夫	昭 36 39 40
27 法解釈学の理論	P 20	川崎武夫	昭 36 39 40
28 法思想史と問題	P 16	川崎武夫	昭 36 39 40
29 定型的理諭	P 16	川崎武夫	昭 36 39 40
30 法思想史と問題	P 16	川崎武夫	昭 36 39 40
31 法思想史と問題	P 16	川崎武夫	昭 36 39 40
32 法思想史と問題	P 16	川崎武夫	昭 36 39 40
33 法思想史と問題	P 16	川崎武夫	昭 36 39 40

67 66 65 64 63 62	61 60	59 58 57 56	55 54 53 52	51 50 49 48	47 46 45	44 43 42	41 40 39	39 38 37	38 37 36	35 34 33
代理人の契約準備上の過失責任	代理人の契約準備上の過失責任	キヤフタ条約—特に米英条約を中心とする明治批判的研究	英法における扶養義務について	中華民国政治組織の一考察	譯曲にあらわれた法の諸相	唐代公廟の法と制度	平和機構と法の技術	アメリカにおける船員の犯罪能力と立法論上における問題点	中華民國海商法に於ける船員制度に関する問題点	法原則による私法規範の形成
現行英國後見法の発展	現行英國後見法の発展	キヤフタ条約—特に米英条約を中心とする明治批判的研究	英法における扶養義務について	中華民国政治組織の一考察	譯曲にあらわれた法の諸相	唐代公廟の法と制度	平和機構と法の技術	アメリカにおける船員の犯罪能力と立法論上における問題点	中華民國海商法に於ける船員制度に関する問題点	私法における一般条項と整理
ローマ相続法の様態	ローマ相続法の様態	有因縁による無因縁扶養義務の一覧	G・コーン・実存主義と法律	前田正治	会社取扱いと仮処分	会社取扱いと仮処分	会社取扱いと仮処分	日本海軍下における船員の立憲君主制の論議	ソローランの法思想	ソローランの法思想
約束と對價	約束と對價	前田正治	前田正治	前田正治	会社取扱いと仮処分	会社取扱いと仮処分	会社取扱いと仮処分	前田正治	明治初年の相続法	明治初年の相続法
法思想史とは何か	法思想史とは何か	松原正晃	松原正晃	松原正晃	山口幸五郎	山口幸五郎	山口幸五郎	吉川大二郎	内閣に於ける二三の法理	内閣に於ける二三の法理
二元属性人法説に就て	二元属性人法説に就て	遠田新一	野見山温	野見山温	石井喜久夫	石井喜久夫	石井喜久夫	吉川大二郎	帝国憲法成立過程の一阶段	帝国憲法成立過程の一阶段
跡部定次郎	跡部定次郎	赤井定節	岩田健一	岩田健一	前田正治	前田正治	前田正治	前田正治	内閣に於ける二三の法理	内閣に於ける二三の法理
昭 37	昭 32	昭 35	昭 35	昭 34	昭 43	昭 43	昭 43	昭 41	昭 41	昭 41
高 100	高 100	高 100	高 100	高 100	高 100	高 100	高 100	高 100	高 100	高 100
97 96 95 94 93	92	91	90	89 88 87	86 85 84	83 82 81	80	79 78 77	76 75 74	69 68
大学自治の由来とその主論点	Reception論・視角の展開	アメリカ国会権限の一般的な考察	一人会社の法律学的考察	外部的授權と代理權の濫用	レケブトウム責任の法理	会社取扱いと仮処分	会社取扱いと仮処分	内閣に於ける二三の法理	内閣に於ける二三の法理	ローマ共和国後期における私法規範の形成
P 20	P 20	P 20	P 20	P 20	P 20	P 20	P 20	P 42	P 42	P 42
盛 秀雄	日本弁護士 昭 42	日本弁護士 昭 42	日本弁護士 昭 42	日本弁護士 昭 42	日本弁護士 昭 42	日本弁護士 昭 42	日本弁護士 昭 42	佐藤寛士	佐藤寛士	佐藤寛士

御注文は各書店へ

〒606
京都市左京区北白川久保田町64の「

社会科学系
學術書専門
外
山
書
店

1	布珪歴史全	渡辺七郎	昭13	六、0000
附録1.	日本語学校沿革	日本人人名録	2.	
2	住宅問題	住宅問題研究会	昭26	九、0000
3	中流住宅建築	富永要吉	昭8	二五、0000
4	地震と内閣(前篇)	山口好恵	大13	一六、0000
5	奥丹後震災誌(改装本)	京都府	昭3	四、0000
6	敦賀市戦災復興史	同編纂会	昭30	三、0000
7	所蔵文献目録	同志社大学人文研	昭34	三、0000
8	雑誌新聞所蔵目録	京都府衛生部	昭39	三、0000
9	日本社会事業総覧	下村春之助	昭13	二六、0000
10	小河滋次郎の社会事業思想	社会事業研究所編	昭29	三、0000
11	京都ジフテリア予防接種禍記録	柴田善守	昭39	三、0000
12	市町村と融和事業	京都府府連	昭25	八、0000
13	京都市における同和行政の概要	京都府	昭44	三、0000
14	文化厚生会館をめぐる問題	昭43	五、0000	
15	ベーベル・ミル婦人解放論	山村菊栄	昭22	二、0000
16	女性思想史	神近市子	昭24	三、0000
17	結婚と恋愛の歴史	赤松啓介	昭25	二、0000
18	増補現代の婦人問題	本間久雄	大12	一三、0000
19	男女の分化と関係	田中香淮	大10	一四、0000
20	農村振興と婦人(香月秀雄他)	平野義美書	昭35	五、0000
21	山村婦人の生活学習	重松俊明編	昭3	九、0000
22	女教師の記録	田中純	昭32	五、0000
23	街娼―実態とその手記―	平野美子	昭15	五、0000
24	女のたかかい女性解放の旗手―	竹中・住谷	昭24	一六、0000
25	家憲正鑑	渡辺徹	昭45	五六、0000
26	総評京都地評運動史	森耕二郎	昭24	一六、0000
27	日本労働組合運動史	篠原・舟橋編	昭36	七、0000
28	労賃學説の史的發展	金子美雄編	昭36	五、0000
29	日本型賃金構造の研究			
30	アメリカの賃金決定			

ヨーロッパの賃金事情 欧米化学工業生産性・賃金視察團報告書	昭40 五、〇〇〇
最低生活費の研究	昭29 六、〇〇〇
安全運動三十年	昭17 一、五、〇〇〇
産業医学論集	昭16 六、八〇〇
朝日航空講座	昭15 五、〇〇〇
兵器読本	昭14 五、〇〇〇
海軍読本	昭13 五、〇〇〇
海軍省海軍軍事普及部	昭12 五、〇〇〇
敏川鎮夫	昭11 五、〇〇〇
猪木正道	昭10 三、〇〇〇
渡辺茂雄	昭9 三、〇〇〇
伊佐秀雄	昭8 四、〇〇〇
伊佐秀雄	昭7 一、〇〇〇
大日本雄弁会編	昭6 一、〇〇〇
尾崎行雄	昭5 一、〇〇〇
尾崎行雄	昭4 一、〇〇〇
尾崎行雄	昭3 一、〇〇〇
尾崎行雄	昭2 一、〇〇〇
尾崎行雄	昭1 一、〇〇〇
昭	一、〇〇〇
大日本雄弁会編	昭1 一、〇〇〇
井上日召述	昭9 六、〇〇〇
上杉慎吉	昭8 六、〇〇〇
田中編	昭7 五、〇〇〇
高垣寅次郎	昭6 四、〇〇〇
松本重敏	昭5 四、〇〇〇
鈴木一編	昭4 三、〇〇〇
昭43 四、〇〇〇	一、〇〇〇
尾崎行雄	昭3 一、〇〇〇
高橋是清	昭2 一、〇〇〇
尾崎行雄	昭1 一、〇〇〇
昭	一、〇〇〇
上杉慎吉	大5 一、〇〇〇
伊達光美	大5 一、〇〇〇
谷口吉彦	昭23 一、〇〇〇
青木英五郎	昭23 一、〇〇〇
高垣寅次郎	昭3 一、〇〇〇
豊崎稔訳	昭9 五、〇〇〇
飯田繁	昭8 五、〇〇〇
谷口吉彦	昭7 五、〇〇〇
細川龜市	昭6 六、八〇〇
有斐閣	昭5 六、八〇〇
昭4 九、〇〇〇	六、八〇〇
昭41 九、〇〇〇	六、八〇〇
昭29 世界経済研究所	六、八〇〇
64 ヴァルガ・第二次世界戦争後の帝国主義 の経済と政治の基本的諸問題	上 下
65 日本仏教経済史論考	上 下
66 金融論講座	全5冊

科学的管理法綱要	国松 豊	大15	五,000
シユマーレンバッハ・原価計算と価格政策	昭29	三,000	
京都市二事業概要	土岐政藏訳		
ミユラー・鉄鋼原価の分析	昭28	四,000	
古今炭鉱名鑑	昭15	五,000	
アメリカの炭礦	昭24	三,000	
久保山石炭研究所	昭28	二,000	
海軍炭鉱五十年史(復刻版)	昭51	二,000	
京都郡製糸株式会社六十年史	第四海軍燃料廠編		
西陣織物同業組合沿革史	東京炭礦技術会		
京都織物株式会社全史	大槻喬編	昭14	四,000
香川県農業史	昭35	四,000	
開設五十周年記念誌	昭44	四,000	
蚕糸業の動向と組合製糸	平館利雄訳	昭11	五,000
京都市中央卸売市場第一市場	大9	三,000	
百濟文化と飛鳥文化	同編纂委員会	昭52	一,000
平安時代政治史研究	谷島黒田訳	昭53	三,000
コール・産業自治とギルド社会主義	千石興太郎他	昭10	六,000
古代朝文學の史的研究	田村・黄編	昭53	四,000
古代承と宫廷祭祀	森田悌	昭53	五,000
村落同族祭祀の研究	中山裕	昭53	四,000
古代東アジア史論集上下末松古稀記念編	松前健	昭55	四,000
平安時代政治史研究	竹田聰洲	昭52	六,000
ハルトマン・可能性と現実性	高橋訛	昭18	七,000
文化の省察	ロベルト・シンチングル	昭17	三,000
新島先生書簡集 正統	森中章光	昭17	35
日本近世教育機関の研究	中泉哲俊	昭12	八,000
中等教育史稿(昭17復刻)	桜井役	昭50	六,000
文部省主催青年訓練指導者公民教育講習会	昭7	三,000	
講演集			
小供研究講座 全10冊	先進社	昭4	一,000
立命館禁衛隊宝典	倉橋勇蔵編	昭16	五,000
百年史	京都市立芸術大学	昭56	七,000
京都府立農業大学八十年史	昭39	三,000	
京都農科大学八十年史	京都府立浜陽学校	昭16	五,000
京都小学校満鮮視察団	昭7	四,000	
満鮮のたび	京都市教育局	昭16	二,000
京都府附近遠足順路百選集			

〒603
京都市北区小山下内河原町六三
古書籍 東方書店

電話（〇七五）四九一三〇七二

下	603	京都市北区小山下内河原町六三
古書籍	東方書店	電話(〇七五)四九一三三〇七一
奈良女子大学六十年史	大阪大学二十五年史	奈良女子大学百年史
神戸女学院百年史	郡山農業高校七十年史	京都府立医科大学百年史
標準各科指導案二	標準各科指導案二	標準各科指導案一
教育実践の検討	改訂各科指導の要諦	現代德育の着眼
児童福祉行政編	改訂各科指導の要諦	京都師範附属小研究双書
教え子を凝視めて	河野伊三郎	昭和45年
国民教育の実践的建設	奈良師範附属小編	昭45年
コアカリキュラム	京都府学校沿革誌	昭45年
危険な年ごろ	校長会編	昭45年
会誌一二号	梅根悟	昭45年
愛知師範同窓会雑誌	一九五八四冊	昭45年
神宮御学館創立六十周年記念誌	昭45年	昭45年
年報	昭45年	昭45年
大11~13年	京都府立二中	昭45年
年報	白井勇	昭45年
大2~3年	梅根悟	昭45年
右同	一九五八年	昭45年
開校十年誌一	昭45年	昭45年
東京高師附属中一覧	昭45年	昭45年
学校経営と学級経営	安倍清見他	昭45年
台北中学校規則	昭45年	昭45年
八尾中学校一覧表	大4年1月現行	昭45年
立正学院一覧	一枚刷	昭45年
平安学院百年のあゆみ	大8	昭45年
京都府立第一中学校一覧	昭9	昭45年
小学校令適用運筆順序	昭12	昭45年
浅野儀史編	昭13	昭45年
松永健哉	昭13	昭45年
客貨車名稱圖解	昭13	昭45年
23	22	22
24	21	21
25	20	20
26	19	19
27	18	18
28	17	17
29	16	16
30	15	15
31	14	14
32	13	13
33	12	12
34	11	11
35	10	10
36	9	9
37	8	8
38	7	7
39	6	6
40	5	5
41	4	4
42	3	3
43	2	2
44	1	1
45	0	0
46	0	0
47	0	0
48	0	0
49	0	0
50	0	0
51	0	0
52	0	0
53	0	0
54	0	0
55	0	0
56	0	0
57	0	0
58	0	0
59	0	0
60	0	0
61	0	0
62	0	0
63	0	0
64	0	0
65	0	0
66	0	0
67	0	0
68	0	0
69	0	0
70	0	0
71	0	0
72	0	0
73	0	0
74	0	0
75	0	0
76	0	0
77	0	0
78	0	0
79	0	0
80	0	0
81	0	0
82	0	0
83	0	0
84	0	0
85	0	0
86	0	0
87	0	0
88	0	0
89	0	0
90	0	0
91	0	0
92	0	0
93	0	0
94	0	0
95	0	0
96	0	0
97	0	0
98	0	0
99	0	0
100	0	0
101	0	0
102	0	0
103	0	0
104	0	0
105	0	0
106	0	0
107	0	0
108	0	0
109	0	0
110	0	0
111	0	0
112	0	0
113	0	0
114	0	0
115	0	0
116	0	0
117	0	0
118	0	0
119	0	0
120	0	0
121	0	0
122	0	0
123	0	0
124	0	0
125	0	0
126	0	0
127	0	0
128	0	0
129	0	0
130	0	0
131	0	0
132	0	0
133	0	0
134	0	0
135	0	0
136	0	0
137	0	0
138	0	0
139	0	0
140	0	0
141	0	0
142	0	0
143	0	0
144	0	0
145	0	0
146	0	0
147	0	0
148	0	0
149	0	0
150	0	0
151	0	0
152	0	0
153	0	0
154	0	0
155	0	0
156	0	0
157	0	0
158	0	0
159	0	0
160	0	0
161	0	0
162	0	0
163	0	0
164	0	0
165	0	0
166	0	0
167	0	0
168	0	0
169	0	0
170	0	0
171	0	0
172	0	0
173	0	0
174	0	0
175	0	0
176	0	0
177	0	0
178	0	0
179	0	0
180	0	0
181	0	0
182	0	0
183	0	0
184	0	0
185	0	0
186	0	0
187	0	0
188	0	0
189	0	0
190	0	0
191	0	0
192	0	0
193	0	0
194	0	0
195	0	0
196	0	0
197	0	0
198	0	0
199	0	0
200	0	0
201	0	0
202	0	0
203	0	0
204	0	0
205	0	0
206	0	0
207	0	0
208	0	0
209	0	0
210	0	0
211	0	0
212	0	0
213	0	0
214	0	0
215	0	0
216	0	0
217	0	0
218	0	0
219	0	0
220	0	0
221	0	0
222	0	0
223	0	0
224	0	0
225	0	0
226	0	0
227	0	0
228	0	0
229	0	0
230	0	0
231	0	0
232	0	0
233	0	0
234	0	0
235	0	0
236	0	0
237	0	0
238	0	0
239	0	0
240	0	0
241	0	0
242	0	0
243	0	0
244	0	0
245	0	0
246	0	0
247	0	0
248	0	0
249	0	0
250	0	0
251	0	0
252	0	0
253	0	0
254	0	0
255	0	0
256	0	0
257	0	0
258	0	0
259	0	0
260	0	0
261	0	0
262	0	0
263	0	0
264	0	0
265	0	0
266	0	0
267	0	0
268	0	0
269	0	0
270	0	0
271	0	0
272	0	0
273	0	0
274	0	0
275	0	0
276	0	0
277	0	0
278	0	0
279	0	0
280	0	0
281	0	0
282	0	0
283	0	0
284	0	0
285	0	0
286	0	0
287	0	0
288	0	0
289	0	0
290	0	0
291	0	0
292	0	0
293	0	0
294	0	0
295	0	0
296	0	0
297	0	0
298	0	0
299	0	0
300	0	0
301	0	0
302	0	0
303	0	0
304	0	0
305	0	0
306	0	0
307	0	0
308	0	0
309	0	0
310	0	0
311	0	0
312	0	0
313	0	0
314	0	0
315	0	0
316	0	0
317	0	0
318	0	0
319	0	0
320	0	0
321	0	0
322	0	0
323	0	0
324	0	0
325	0	0
326	0	0
327	0	0
328	0	0
329	0	0
330	0	0
331	0	0
332	0	0
333	0	0
334	0	0
335	0	0
336	0	0
337	0	0
338	0	0
339	0	0
340	0	0
341	0	0
342	0	0
343	0	0
344	0	0
345	0	0
346	0	0
347	0	0
348	0	0
349	0	0
350	0	0
351	0	0
352	0	0
353	0	0
354	0	0
355	0	0
356	0	0
357	0	0
358	0	0
359	0	0
360	0	0
361	0	0
362	0	0
363	0	0
364	0	0
365	0	0
366	0	0
367	0	0
368	0	0
369	0	0
370	0	0
371	0	0
372	0	0
373	0	0
374	0	0
375	0	0
376	0	0
377	0	0
378	0	0
379	0	0
380	0	0
381	0	0
382	0	0
383	0	0
384	0	0
385	0	0
386	0	0
387	0	0
388	0	0
389	0	0
390	0	0
391	0	0
392	0	0
393	0	0
394	0	0
395	0	0
396	0	0
397	0	0
398	0	0
399	0	0
400	0	0
401	0	0
402	0	0
403	0	0
404	0	0
405	0	0
406	0	0
407	0	0
408	0	0
409	0	0
410	0	0
411	0	0
412	0	0
413	0	0
414	0	0
415	0	0
416	0	0
417	0	0
418	0	0
419	0	0
420	0	0
421	0	0
422	0	0
423	0	0
424	0	0
425	0	0
426	0	0
427	0	0
428	0	0
429	0	0
430	0	0
431	0	0
432	0	0
433	0	0
434	0	0
435	0	0
436	0	0
437	0	0
438	0	0
439	0	0
440	0	0
441	0	0
442	0	0
443	0	0
444	0	0
445	0	0
446	0	0
447	0	0
448	0	0
449	0	0
450	0	0
451	0	0
452	0	0
453	0	0
454	0	0
455	0	0
456	0	0
457	0	0
458	0	0
459	0	0
460	0	0
461	0	0
462	0	0
463	0	0
464	0	0
465	0	0
466	0	0
467	0	0
468	0	0
469	0	0
470	0	0
471	0	0
472	0	0
473	0	0
474	0	0
475	0	0
476	0	0
477	0	0
478	0	0
479	0	0
480	0	0
481	0	0
482	0	0
483	0	0
484	0	0
485		

下
530

(株) 臨川書店 大阪店

阪急古書のまち

電話六三七四〇一〇三〇番

營業時間 午前十一時—午後八時 定休日 每週水曜日
（例）晴天の日曜日

2 原色鳥類図譜 内田・下村昭7年

4 日本鳥類生態図鑑 清棲幸保 昭29一四〇

6 顏色日本馬類圖錄

原色日本野鳥生態圖鑑(保育社)一冊清木幸昭昭和六〇
鳥類生態寫真集第一・二集 内田・下村昭三著

日本鳥類生態写真図集

11 写真記録 日本鳥類狩獵法(普及版) 堀内讚位 昭17 八〇

13 鳥類生態寫真集 小林桂助 昭39 一、五

15 日本の鳥
日本の中の鳥
水野忠次郎・水野仲彦写真集 招3
日本の中の鳥
昭和3年二月二日

7 16
歴時記録
スズメ
本ウドリ
小林清之助 昭243
藤次郎 招2
兵二

9 18
しらさぎ(写真集)
田中徳太郎 昭45
、昭45
、昭45
三、五

20 ハドソン 野の鳥の生活 木村 幹昭 6二〇

22 野鳥札譜 内田清之助 昭和10年5月

242
日本の鳥類 科学鳥学講習会 内田清之助 講義 大招 121
121
二、五

6 25
画と鳥(増訂)
種々の鳥の研究
内田清之助 昭12
4 12
元
五

鳥と獸

29 旅と鳥
内田清之助 昭17 三〇

313
新編 鳥學講話(決定版)
内田清之助 昭25 1
一〇三

31 鳥類學五十年
内田清之助 昭31—

32	鳥のむかし話(フォノシマガタ)	渡り鳥
33	鳥・獣・人間	野鳥と共に普及版
34	野禽の中に	野鳥を訪ねて
35	鳥蟲威時記	鳥十話
36	定本野鳥記(旧版全八冊)	鳥の減る国ふえる国
37	鳥の生活と談叢	鳥の芸術
38	鳥と芸術	野鳥隨想
39	野鳥雜記	野鳥の愛と憎しみ
40	鳥の生態と芸術	野鳥の生態と分布
41	北海道動物記	(ホクダウドウガク)
42	野鳥の生態と分布	高山の鳥(アルス叢書)
43	石川の野鳥	北の鳥南の鳥
44	群馬の野鳥	滿州の野生鳥
45	甲斐の鳥たち	野鳥の愛と憎しみ
46	ワトソン 生物誌	野鳥の生態と分布
47	ニコラ大陸の野生動物(哺育)	高山の鳥(アルス叢書)
48	日本水産動物学	北の風土と動物
49	日本水産動植物概論(図説共)	放馬錄
50	日本水産動物学	人と猿
51	日本水産動植物概論(図説共)	名花写真図説
52	日本水産動物学	植物生理の研究
53	日本水産動物学	統野外植物の研究
54	日本水産動物学	最新花弁園芸(温根植物)
55	日本水産動物学	実験栽培十五講

付)内田清之助	昭3	一、五〇〇
内田清之助	昭36	二、五〇〇
中西悟堂	昭16	三、五〇〇
中西悟堂	昭15	三、五〇〇
中西悟堂	昭15	六、五〇〇
中西悟堂	昭16	六、五〇〇
中西悟堂	昭17	六、五〇〇
中西悟堂	昭17	六、五〇〇
中西悟堂	昭19	六、五〇〇
中西悟堂	昭45	六、五〇〇
山階芳麿	昭42	一、五〇〇
山階芳麿	昭42	二、五〇〇
藤沢衛彦	昭23	二、五〇〇
金井紫雲	昭23	二、五〇〇
竹野家立	昭11	二、五〇〇
猪川城	昭27	二、五〇〇
堀内讃位	昭16	二、五〇〇
高橋清貳	昭41	二、五〇〇
清棲幸保	昭41	二、五〇〇
下村兼史	昭11	二、五〇〇
山縣深雪	昭17	二、五〇〇
永田洋子	昭52	三、五〇〇
卯木達朗	昭48	三、五〇〇
中村幸雄	昭44	三、五〇〇
朝山新一	昭44	一、五〇〇
石川千代松	昭45	一、五〇〇
藤田経信	昭34	一、五〇〇
永田洋平	昭45	一、五〇〇
犬飼哲夫	昭35	一、五〇〇
走尾二三	昭35	一、五〇〇
田寺寛二	昭19	一、五〇〇
永井潛	昭18	一、五〇〇
西村真次	昭39	一、五〇〇
梅邑・森田	昭42	一、五〇〇
博物学研究会	大6	一、五〇〇
合巻芸大系	大13	一、五〇〇
三矢与六	昭6	一、五〇〇

〒604 京都市中京区河原町通六角下ル

赤尾照文堂

電話(075) 321-1588
振替 京都 三三二六

1 1	謡曲二百五十番集索引	野々村戒三編 昭53	六,000	
2 2	謡曲講座 全一五輯	大谷 審藏編 昭53	五,000	
3 3	謡曲講習会	十五年	五,000	
4 4	能楽譜大辞典 附図共	正田草太郎 昭6	五,000	
5 5	謡曲辞典 蜂谷時順	立川文明堂 大13	五,000	
6 6	註解謡曲全集 全六冊	中央公論社 昭46	一八,000	
7 7	謡曲全集 読曲拾葉抄	日本音曲全集 昭2	四,000	
8 8	能楽筆陣 岸田七帖・謡曲未百番	犬井貞恕 小林静雄 大岡山 昭8	一、000	
9 9	能楽隨想 能楽十八帖	坂元雪鳥 沢田時順	五,000	
10 10	能楽源流考	能勢朝次 岩波書店 昭54	二、000	
11 11	能樂論 隨想	戸井田道三 白井書房 昭23	三,000	
12 12	能楽史料 第一輯	金剛巖 古賀樂の伝承	一、000	
13 13	能楽筆陣	新井恒易 沢田時順	五,000	
14 14	能楽隨想	河出書房 昭14	二、000	
15 15	能芸論	戸井田道三 勉草書房 昭40	三,000	
16 16	能樂論 隨想	川瀬一馬 わんや書店 昭43	三,000	
17 17	能の再生	野上豊一郎 岩波書店 昭10	一、000	
18 18	能の研究	新井恒易 新讀書社 昭41	五,000	
19 19	能・捨心の芸術	野々村戒三 大岡山 昭8	二、000	
20 20	明治能楽史序説	古川久 わんや書店 昭47	五,000	
21 21	能の今昔	野々村戒三 木耳社 昭42	一、000	
22 22	近畿能楽記	野々村戒三 春陽堂 昭6	二、000	
23 23	能楽古今記	梅若万三郎 伊藤正義	野々村戒三 春陽堂 昭7	二、000
24 24	能と金春	白洲梅香 広瀬弘	野々村戒三 春陽堂 昭44	二、000
25 25	能と金春	正田梅香	初音文堂 昭15	二、000
26 26	能と金春	三宅抗一	春陽堂 昭26	二、000
27 27	能と金春	伊藤正義	春陽堂 昭45	二、000
28 28	能と金春	梅若万三郎	春陽堂 昭46	二、000
29 29	能と金春	白洲正子	能楽書林 昭15	二、000
30 30	能と金春	能と金春	能と金春 昭26	二、000
31 31	能と金春	伊藤正義	能と金春 昭45	二、000
32 32	能と金春	梅若万三郎	能と金春 昭46	二、000
33 33	能と金春	梅若万三郎	能と金春 昭47	二、000
34 34	世阿弥十六部集	野々村戒三 春陽堂	大15	二〇,000
35 35	世阿弥十六部集評釈	高野辰之	能勢朝次 昭54	六,000
36 36	世阿弥十六部集評釈	高野辰之	義夫太集 昭43	三,000
37 37	狂言全集	幸田成行	河東節 昭43	三,000
38 38	狂言百番集	古川忠彦	義夫太年表 昭43	三,000
39 39	狂言百番集	古川忠彦	義夫太年表 昭43	三,000
40 40	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
41 41	狂言研究 増補版	北川忠彦	義夫太年表 昭43	三,000
42 42	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
43 43	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
44 44	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
45 45	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
46 46	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
47 47	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
48 48	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
49 49	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
50 50	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
51 51	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
52 52	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
53 53	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
54 54	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
55 55	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
56 56	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
57 57	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
58 58	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
59 59	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
60 60	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
61 61	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
62 62	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
63 63	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
64 64	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
65 65	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
66 66	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
67 67	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
68 68	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
69 69	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
70 70	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
71 71	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
72 72	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
73 73	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
74 74	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
75 75	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
76 76	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
77 77	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
78 78	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
79 79	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
80 80	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
81 81	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
82 82	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
83 83	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
84 84	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
85 85	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
86 86	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
87 87	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
88 88	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
89 89	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
90 90	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
91 91	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
92 92	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
93 93	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
94 94	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
95 95	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
96 96	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
97 97	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
98 98	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
99 99	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
100 100	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
101 101	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
102 102	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
103 103	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
104 104	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
105 105	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
106 106	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
107 107	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
108 108	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
109 109	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
110 110	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
111 111	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
112 112	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
113 113	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
114 114	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
115 115	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
116 116	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
117 117	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
118 118	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
119 119	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
120 120	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
121 121	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
122 122	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
123 123	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
124 124	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
125 125	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
126 126	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
127 127	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
128 128	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
129 129	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
130 130	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
131 131	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
132 132	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
133 133	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
134 134	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
135 135	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
136 136	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
137 137	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
138 138	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
139 139	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
140 140	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
141 141	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
142 142	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
143 143	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
144 144	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
145 145	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
146 146	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
147 147	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
148 148	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
149 149	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
150 150	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
151 151	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
152 152	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
153 153	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
154 154	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
155 155	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
156 156	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
157 157	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
158 158	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
159 159	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
160 160	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
161 161	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
162 162	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
163 163	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
164 164	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
165 165	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
166 166	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
167 167	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
168 168	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
169 169	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
170 170	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
171 171	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
172 172	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
173 173	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
174 174	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
175 175	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
176 176	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
177 177	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
178 178	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
179 179	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
180 180	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
181 181	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
182 182	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
183 183	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
184 184	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
185 185	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
186 186	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
187 187	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
188 188	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
189 189	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
190 190	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
191 191	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
192 192	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
193 193	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
194 194	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
195 195	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
196 196	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
197 197	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
198 198	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
199 199	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
200 200	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
201 201	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
202 202	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
203 203	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43	三,000
204 204	狂言研究 増補版	北川忠彦	河東節 昭43</td	

仏像図鑑 石仏入門 板碑入門

日下部朝一郎著／細密な解説と三
八〇余点の写真図版による石仏及
び石造仏教文化遺物についての入
門書。
A5判／上製函入 定価二〇〇〇円

小沢国平著／多種多様で数の多い
埼玉県所在の板碑の写真・図版を
用いて解説した数少ない板碑関係
の入門書。
A5判／上製函入 定価二〇〇〇円

国訣秘密儀軌編纂局編／常識とし
ての仏像の名称・相容・誓願・功
徳・印相・真言等を解説し一仏
様を示した。 定価九五〇〇円

田山達著／密教理解に不可欠の法門、陀羅尼(ダラニ)や真言は仏菩薩の功德や教説などの深い意味をあらわす。本書は真言・ダラニを理解するための古典的手引書。研究者、僧侶座右の名著！
A5判／上製函入 定価三八〇〇円

真言の教学全一巻 陀羅尼字典

勝又俊教編／深遠なる真言教学の諸問題を整備した「大疏百條第三重」の総合的研究書。漢文体を和訳し本文中の出典を明記。解説編では著者及び思想内容を論究。真言教学研究に必携の大著！
A5判／上製函入 全二巻 捉価一六〇〇〇円

B5判／豪華愛藏本 定価一八〇〇〇円

真言宗法号大字典

稻谷祐宣編／真言宗所依の経・論、弘法大師の著作等から法号に適する語句六万余語を収録。字義の詳しい説明・仏教語としての意味や密教的用例も詳細に解説。真言宗僧侶必備の書！

国書刊行会

*注文制です。お近くの書店にお申し込み下さい。
〒170 東京都豊島区巣鴨3-5-18 電話03(917)8287

四柱推命学命名法

赤ちゃん ばんざい

5月上旬刊 ■伊藤泰苑著

話題の「四柱推命学」で解く命名法。読者の強いご期待にお応えし、いよいよ初刊行！あなたの大切な赤ちゃんのためにもぜひご常備ください。

●本書の内容

- 第1章 命名の基礎知識（仮題）
- 第2章 命名の実例（仮題）
- 第3章 改名、適職、運勢（仮題）
- 第4章 付録（漢字表）

A5判／総240頁／ビニール引カバー巻き

予約受付中！ ■予価=3,500円

京都書院

〒604 京都市中京区堀川通三条上ル
TEL (075) 841-9123・振替京都6 6 3

京都仏教各宗学校聯合会編

大蔵会展観目録全一冊

大正四年至昭和三十九年 五十回・五十年分完全収録
四六倍判／上製本箱入／写真40頁／本文六八六頁
解題大蔵会について……高橋正隆
定価二四、〇〇〇円（限印三〇〇部）

大正天皇の大典を記念して、大正四年「大蔵会」会議がおこった、京都仏教各宗学校联合会が主宰して、この年十一月第一回展示が行なわれた。茲来毎年十一月、今日も猶続けられている。今回複製した五十回分には、東寺觀智院藏典籍、知恩院藏写経版經、兩足院藏禪籍、高野山現存平安時代写本及高野版典籍、「仁和寺御經藏典籍」、叡山文庫藏本、醍醐寺藏写本版本、絵画、など有名寺院にある典籍は十四回に涉って出陳された。各家の個人蔵書も資料として価値の高いものは悉く五十回に收められている。書名識語は書誌学的な記述が正確になされている。識語は部分的には、こ、数十年諸刊本にあげられているとはいえるが、原本の姿を確認出来る上で基本的資料を提供するものである。

発行所 文華堂書店

〒604 京都市中京区河原町通竹屋町上ル
電話(075)231-3288・振替京都3-7639

